



消防年報

平成27年版

さつまい町消防本部
平成28年発行

はじめに

この年報は、さつま町消防本部の現勢及び平成27年中の消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介し、理解と協力を得るため編集したものです。

また、この年報の統計資料は原則として暦年をもって表し、予算に関係のある事項については会計年度で作成し、それ以外のものについては当該表にそれぞれ記載した年月日現在をもって表してあります。

なお、統計上の割合（％）については、項目（欄）毎に小数点第1位表記（第2位を四捨五入にて算定）しているため、その合計が100%にならない場合があります。

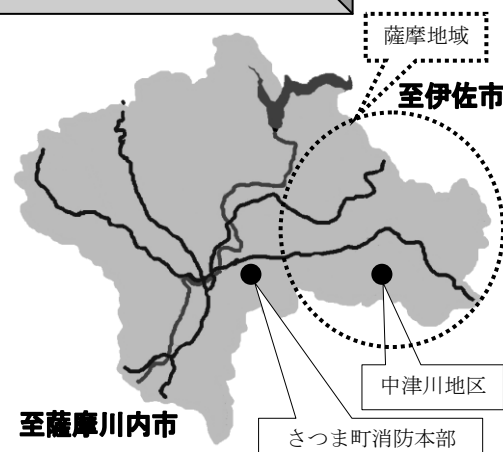
平成28年9月

さつま町消防本部

～表紙の説明～

さつま町内の薩摩地域で栽培されている南高梅を「薩摩西郷梅」として加工出荷しており、花開く春先には中津川地区でウォーキング大会が開催され、県内外から多くの参加者が訪れます。

生産者の方々が管理する南高梅の畑をはじめ、その昔領主であった島津歳久公を奉る大石神社や落差21mある雄大な永江の滝を巡りながら、郷土料理や有志による手踊りでもてなすこのイベントは、毎年大変好評を得ております。



目 次

▽ 消 防 情 勢

管内の位置・地勢・面積・人口・世帯数	1
消防本部の沿革	2～3
消防本部の組織図	4
歴代消防長	5
消防相互応援協定締結状況	5
消防本部（消防課）の事務分掌	6～7
消防庁舎の概要	8～10
平成28年度消防予算額（当初）	11
消防力の整備指針と現況	12
消防水利の現況	12
職員の配置状況	13
職員の階級と勤務年数	13
職員の階級別年齢	14
職員の研修状況	14
職員の特殊技能資格状況	15
消防用車両	16
特殊機械器具	16

▽ 予 防

防火対象物現況と予防査察状況	17
中高層建築物現況	18
防火管理状況	19
消防法関係・火災予防条例等届出状況	20
消防同意事務処理状況	21
消防用設備等検査状況	22
防火対象物点検結果報告状況	22
広報活動実施状況	23
防火管理者資格取得講習会実施状況	24
危険物施設現況と査察状況	25
危険物施設数量・種類別状況	26
危険物規制事務処理状況	27
危険物規制事務手数料徴収状況	27
煙火消費許可事務及び手数料徴収状況	27

▽ 火 災

火災概要	28
火災概況	29
地域別発生状況	30
月別発生状況	31
曜日別発生状況	31
時間帯別発生状況	31
出動状況	32
現場到着所要時間	32
原因別火災発生状況	33
死傷者の発生状況	33
火災の発見媒体と発見後の行動	34
初期消火実施状況	34
初期消火実施者の分類	34
過去10年間の火災発生件数と損害額	35
火災以外の出動状況	36

▽ 救 急 ・ 救 助

救急概要	37
救急概況	38

地域別出動状況	39
月別出動件数	40
曜日別出動件数	40
時間帯別出動件数	41
覚知別出動件数	41
傷病程度別搬送状況	42
救急隊員の行った応急処置	42
年齢区分別搬送状況	43
現場到着所要時間別出動状況	44
医療機関収容所要時間別搬送人員	44
過去10年間の出動件数と搬送人員	45
救助概要	46
事故種別活動状況	47
傷病程度別救助人員	47
発生場所別救助人員	48
地域別出動状況	48

▽ 通 信

高機能消防指令センター構成図	49
消防通信	50
消防無線状況	51
防災行政無線吹鳴区分（出動区分）	52
防災行政無線設置場所一覧（屋外）	53
専用回線（119番）着信状況	54
災害別覚知状況	55
月別医療機関照会状況	56
曜日別医療機関照会状況	56
災害時自動案内利用状況	56

▽ 気 象

月別気象概況表	57
月別気温平年比較表	58
月別降雨量平年比較表	58
月別湿度平年比較表	59
月別風速平年比較表	59
火災気象通報及び気象警報発表時における火災発生状況	60

▽ 消 防 団

消防団の沿革	61
消防団の現勢	62
団員の階級別人員	62
団員の報酬（年額）	62
団員の手当（1回当り）	62
団員の勤続年数	63
団員の年齢	63
消防機械	64
消防団配置図	65

▽ 消防協力団体

婦人防火クラブ	66
幼年消防クラブ	66
消防災害支援隊	66
自主防災組織	67～68
さつま町危険物安全協会	68

消 防 情 勢

管内の位置・地勢・面積・人口・世帯数

消防本部の沿革

消防本部の組織図

歴代消防長

消防相互応援協定締結状況

消防本部（消防課）の事務分掌

消防庁舎の概要

平成28年度消防予算額（当初）

消防力の整備指針と現況

消防水利の現況

職員の配置状況

職員の階級と勤務年数

職員の階級別年齢

職員の研修状況

職員の特殊技能資格状況

消防用車両

特殊機械器具

管内の位置・地勢・面積・人口・世帯数

当消防本部は、鹿児島県北西部に位置し、北は紫尾連峰を境に出水市・伊佐市・湧水町、東は霧島市、西及び南は薩摩川内市に接している。

管内中央部を流れる川内川は、延長137km、流域面積1,600km²におよぶ南九州第1の大河で、九州一の高さを誇る鶴田ダムや歌人・謝野晶子が讃えた轟の瀬、ホタルの大量群生地など四季を通じて自然の景観に恵まれている。



管内の面積・人口・世帯数

平成28年4月1日現在

面積(km ²)	人口(人)	世帯数(戸)
303.90	21,887	9,571

※ 人口・世帯数は推計人口による

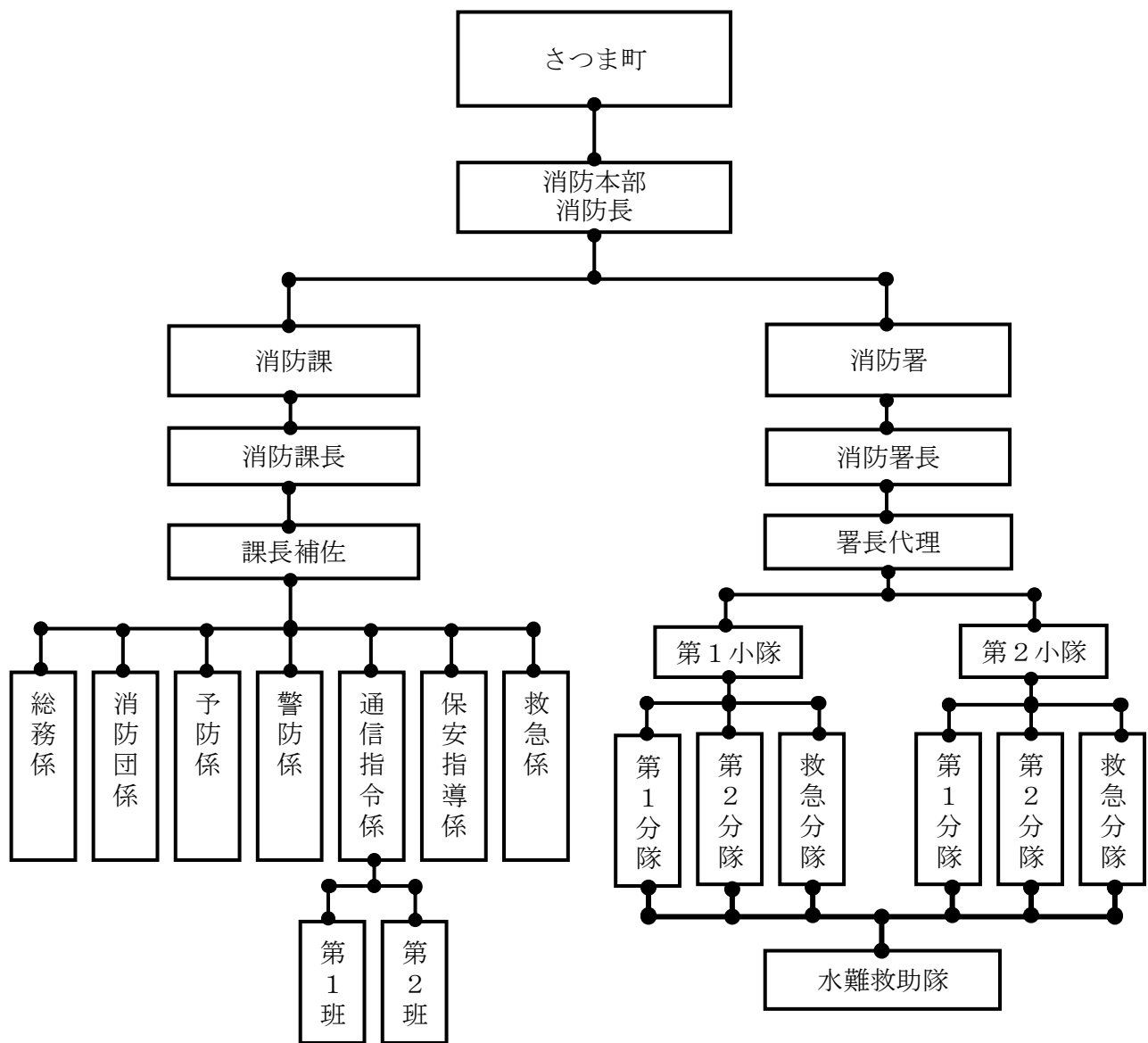
消防本部の沿革

年	月	記 事
昭和51年	3月	川薩広域市町村圏協議会 基本計画策定
昭和54年	5月	〃 〃 広域消防救急システム推進研究部会発足
	10月	〃 〃 4町(宮之城町・鶴田町・薩摩町・祁答院町)での設立決定
昭和55年	7月	祁答院地区消防組合の設立県知事許可
	8月	祁答院地区消防組合発足
昭和56年	2月	大口市外三町消防組合と消防救急業務相互応援協定締結
	3月	祁答院地区消防組合庁舎完成
	4月	初代管理者 児玉 泰象 初代消防長兼消防署長 西之園 九郎 消防職員17名 その他の職員2名 消防本部及び消防署設置政令指定 消防及び救急業務を開始 祁答院地区消防組合職員定数条例(30人)施行
	5月	川内地区消防組合と消防救急業務相互応援協定締結
昭和57年	4月	出水地区消防組合と消防救急業務相互応援協定締結
昭和58年	5月	手塚 機久郎 2代管理者に就任
	6月	姶良郡西部消防組合と消防救急業務相互応援協定締結
	7月	祁答院地区消防組合紋章の制定
	12月	木場 勝 2代消防長兼消防署長に就任
昭和61年	4月	貝崎 俊彦 3代消防長兼消防署長に就任
昭和62年	3月	非常用無線サイレンシステム完成
	7月	東 伸太郎 3代管理者に就任
	8月	(財)日本消防協会から「査察広報車」寄贈
昭和63年	10月	中尾 泰久 4代消防長兼消防署長に就任
平成元年	5月	さつま農業協同組合から「救急車」寄贈
	11月	消防ポンプ自動車(BD-I型)購入
平成2年	3月	庁舎増築工事完成
	8月	田畑 勇 5代消防長兼消防署長に就任 日本特殊陶業株から「指揮車」寄贈
平成3年	3月	(社)日本損害保険協会から「救急車」寄贈
	4月	下藺 和三 6代消防長兼消防署長に就任
	10月	専任署長制施行 田上 泉 7代消防署長に就任
平成4年	4月	祁答院ゴルフ倶楽部から「マイクロバス」寄贈
平成5年	9月	(社)日本損害保険協会から「水槽付消防ポンプ自動車」寄贈
平成6年	4月	真崎 良二 7代消防長に就任 祁答院地区消防組合職員定数条例の一部改正(34人)施行
	6月	(財)日本防火協会から「防火広報車」寄贈
	12月	救助工作車購入
平成7年	7月	北村 信之 4代管理者に就任
平成8年	3月	水難救助用ボート購入
	8月	祁答院地区消防組合職員定数条例の全部改正(41人)施行
	10月	祁答院地区消防組合消防職員委員会を設置(委員総定数4人)施行
平成9年	4月	岸良 勝利 8代消防長に就任
	3月	26日17時31分鹿児島県北西部地震発生
	5月	13日14時38分第2鹿児島県北西部地震発生
平成10年	3月	庁舎増築工事完成
平成10年	4月	川内地区消防組合と携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定締結
平成11年	4月	消防緊急通信指令システム(自治省消防庁I型)運用開始 さつま農業協同組合と鹿児島県共済農業協同組合連合会から「救急車」寄贈
平成12年	4月	高規格救急車運用開始
	6月	査察広報車購入(祁答院地区危険物安全協会から一部補助)
	12月	日本特殊陶業株から「指揮車」寄贈
平成13年	4月	水難救助隊発足(9名)
平成14年	4月	鬼塚 三武 9代消防長に就任
平成15年	3月	(社)日本損害保険協会から「高規格救急車」寄贈
平成16年	1月	消防ポンプ自動車(CD-I型)購入
	10月	祁答院町が川内市他との市町村合併のため、祁答院地区消防組合を離脱
平成17年	3月	祁答院地区消防組合解散

年 月	記 事
平成17年 3月	市町村合併により、新町「さつま町」誕生 さつま町消防本部発足 (職員定数42名施行) 田上 泉 さつま町消防本部初代消防長に就任、高木 卓朗 さつま町消防署初代消防署長に就任 職員2名を旧宮之城町役場職員から任用(実員41名) 機構改革(庶務係を総務係、危険物査察係を危険物係、企画広報係を消防広報係にそれぞれ名称変更、消防団係を新設)
4月	薩摩川内市と消防相互応援協定締結
9月	大口市と消防相互応援協定締結
11月	第8回全国消防広報コンクールにおいて防火読本「私たちの町を守る消防」が入選し消防庁長官表彰受賞
平成18年 2月	霧島市と消防相互応援協定締結
4月	職員2名採用(実員42名)
7月	22日鹿児島県北部豪雨災害発生
10月	出水市と消防相互応援協定締結
12月	日本特殊陶業㈱から「指揮車」寄贈 交通防災係から「連絡車」移譲
平成19年 6月	(財)九州特定郵便局長協会から災害救助用ゴムボート寄贈
平成20年 2月	フレーム式急速展張テント(通称「ドラッシュテント」)導入
4月	機構改革(消防課を新設、課長補佐職を新設、救助業務を警防係へ事務移譲し救急救助係を救急係へ名称変更)
平成21年 2月	伊佐湧水消防組合と消防相互応援協定締結
3月	伊佐市と消防相互応援協定締結
4月	職員1名採用(実員42名)
8月	機構改革(総務係と消防団係を統合し消防係を新設)
平成22年 2月	水槽付消防ポンプ自動車を更新、資機材搬送車を購入
4月	高木 卓朗 2代消防長に就任、市野 恵二 2代消防署長に就任 機構改革(消防本部次長職を廃止、消防係を総務係と消防団係へ分割、消防広報係を廃止し総務係と予防係へ事務移譲、危険物係を保安指導係とし予防係から予防査察業務を事務移譲) 職員2名採用(実員42名)
6月	救助工作車を更新
8月	消防緊急通信指令システムの一部更新
11月	さつま警察署とホットライン開設
12月	訓練塔改修工事 高規格救急車を更新
平成23年 8月	訓練場舗装全面補修工事
平成24年 4月	若松 良尚 3代消防署長に就任 職員1名採用(実員42名)
平成25年 4月	職員1名採用(実員42名)
平成26年 2月	消防庁舎塔屋解体及び外壁改修工事施行
3月	連絡車を更新し広報車へ名称変更、広報車を連絡車へ名称変更
4月	職員3名採用(実員42名)
平成27年 2月	高規格救急車を更新
4月	消防救急デジタル無線運用開始 若松 良尚 3代消防長に就任、鯉坂 貞司郎 4代消防署長に就任 職員定数45名施行 職員1名採用(実員42名)
平成28年 4月	鯉坂 貞司郎 4代消防長に就任、東 恭一 5代消防署長に就任 職員5名採用(実員45名)

消防本部の組織図

平成28年4月1日現在



役職員名

職 務	氏 名	職 務	氏 名
消防長	鯨坂 貞司郎	消防課長補佐兼保安指導係長 兼消防署長代理	服部 智行
消防課長兼消防署長	東 恭一	消防課長補佐兼総務係長	野田 真一郎

歴代消防長

平成28年4月1日現在

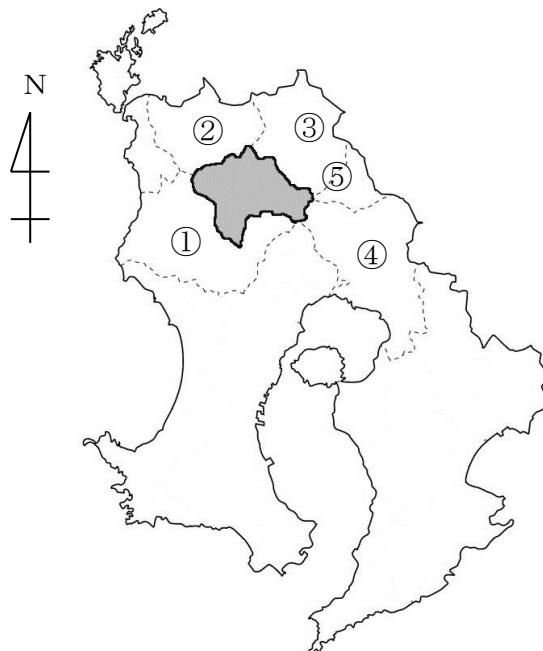
代	氏 名	期 間	
		就任年月日	退任年月日
初	西之園 九 郎	昭和56年 4月 1日	昭和58年11月30日
2	木 場 勝	昭和58年12月 1日	昭和61年 3月31日
3	貝 崎 俊 彦	昭和61年 4月 1日	昭和63年 9月30日
4	中 尾 泰 久	昭和63年10月 1日	平成 2年 7月31日
5	田 畑 勇	平成 2年 8月 1日	平成 3年 3月31日
6	下 藺 和 三	平成 3年 4月 1日	平成 6年 3月31日
7	真 崎 良 二	平成 6年 4月 1日	平成 9年 3月31日
8	岸 良 勝 利	平成 9年 4月 1日	平成14年 3月31日
9	鬼 塚 三 武	平成14年 4月 1日	平成17年 3月21日
初	田 上 泉	平成17年 3月22日	平成22年 3月31日
2	高 木 卓 朗	平成22年 4月 1日	平成27年 3月31日
3	若 松 良 尚	平成27年 4月 1日	平成28年 3月31日
4	鯉 坂 貞司郎	平成28年 4月 1日	在任中

※ 網掛け部分は旧祁答院地区消防組合の歴代消防長

消防相互応援協定締結状況

平成28年4月1日現在

番号	協定先	業務の種類	締結年月日
①	薩摩川内市	消防救急業務	平成17年 4月 1日
②	出水市	消防救急業務	平成18年10月 1日
③	伊佐市	消防業務	平成21年 3月16日
④	霧島市	消防救急業務	平成18年 2月 1日
⑤	伊佐湧水消防組合	消防救急業務	平成21年 2月 1日
※	県下市町村及び消防本部	大規模災害等	平成 4年 1月30日



消防本部(消防課)の事務分掌

1 総 務 係

- (ア) 会議に関すること。
- (イ) 公印の保管に関すること。
- (ウ) 条例、規則等の制定改廃に関すること。
- (エ) 消防職員（以下「職員」という。）の任用、昇任、任免等の人事に関すること。
- (オ) 消防組織及び消防総合計画に関すること。
- (カ) 職場及び職員の安全管理並びに衛生管理に関すること。
- (キ) 予算経理に関すること。
- (ク) 物品の購入、出納、保管及び処分に関すること。（消防団の機械器具等を除く。）
- (ケ) 職員の貸与品に関すること。
- (コ) 庁舎その他財産の維持管理に関すること。
- (サ) 公務災害補償及び職員共済組合に関すること。
- (シ) 消防表彰に関すること。（消防団員を除く。）
- (ス) 職員の研修及び教養並びに消防学校の入校等に関すること。
- (セ) 職員の福利厚生に関すること。
- (ソ) 消防手数料の収納に関すること。
- (タ) 消防職員委員会に関すること。
- (チ) 他の係の所掌に属さない事務の処理に関すること。
- (ツ) 消防広報全般の企画に関すること。
- (テ) 消防統計及び消防情報に関すること。
- (ト) 消防年報及び広報紙の編集並びに発行に関すること。
- (ナ) 公聴処理及び報道機関との連絡調整に関すること。

2 警 防 係

- (ア) 消防計画及び警備計画に関すること。
- (イ) 火災、救助その他の災害等の警戒防ぎょに関すること。
- (ウ) 非常警戒及び非常招集の発令に関すること。
- (エ) 各種訓練に関すること。（救急訓練を除く。）
- (オ) 管内の地理及び水利調査に関すること。
- (カ) 相互応援協定に関すること。
- (キ) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (ク) 消防機械器具の維持管理及び点検に関すること。（消防団の機械器具を除く。）
- (ケ) 火災証明に関すること。
- (コ) 火災統計、火災報告、救助統計及び救助報告に関すること。
- (サ) 水難救助隊に関すること。
- (シ) 開発行為等の事前協議に関すること。

3 救 急 係

- (ア) 救急業務に関すること。
- (イ) 救急の訓練に関すること。
- (ウ) 救急資機材の維持管理に関すること。
- (エ) 救急統計及び報告に関すること。
- (オ) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (カ) 医師会及び医療機関等との連絡調整に関すること。

4 消 防 団 係

- (ア) 幹部会議等の行事に関すること。
- (イ) 消防団員（以下「団員」という。）の階級、任免、分限及び懲戒に関すること。
- (ウ) 団員の教養訓練に関すること。
- (エ) 団員の被服及び貸与品に関すること。
- (オ) 消防団の機械器具等の購入、維持管理及び保守点検に関すること。

- (カ) 消防団の保管備品に関する事。
- (キ) 団員の報酬、費用弁償等に関する事。
- (ク) 団員の公務災害補償に関する事。
- (ケ) 団員の表彰に関する事。
- (コ) 消防水利の設置事務に関する事。
- (サ) 分団との連絡調整に関する事。
- (シ) 消防協会薩摩支部との連絡調整に関する事。
- (ス) その他消防団事務に関する事。

5 通信指令係

- (ア) 火災、救急、その他災害情報の受理及び出動指令に関する事。
- (イ) 消防通信の運用及び統制に関する事。
- (ウ) 電話交換業務に関する事。
- (エ) 通信施設の維持管理及び保守点検に関する事。
- (オ) 通信訓練に関する事。
- (カ) 気象観測及び気象情報等の伝達に関する事。
- (キ) 職員に対する非常招集の発令及び解除の伝達に関する事。
- (ク) 消防団の招集に伴うサイレン吹鳴に関する事。
- (ケ) その他通信指令業務に関する事。

6 予防係

- (ア) 防火管理者の育成指導に関する事。
- (イ) 建築同意事務に関する事。
- (ウ) 消防用設備等の指導に関する事。
- (エ) 幼年婦人防火クラブの育成指導に関する事。
- (オ) 防火協力団体に関する事。(社会福祉施設等防災対策協議会を含む。)
- (カ) 予防統計、調査及び報告に関する事。(危険物に関するものを除く。)
- (キ) その他一般火災予防に関する事。
- (ク) 火災予防運動の計画に関する事。

7 保安指導係

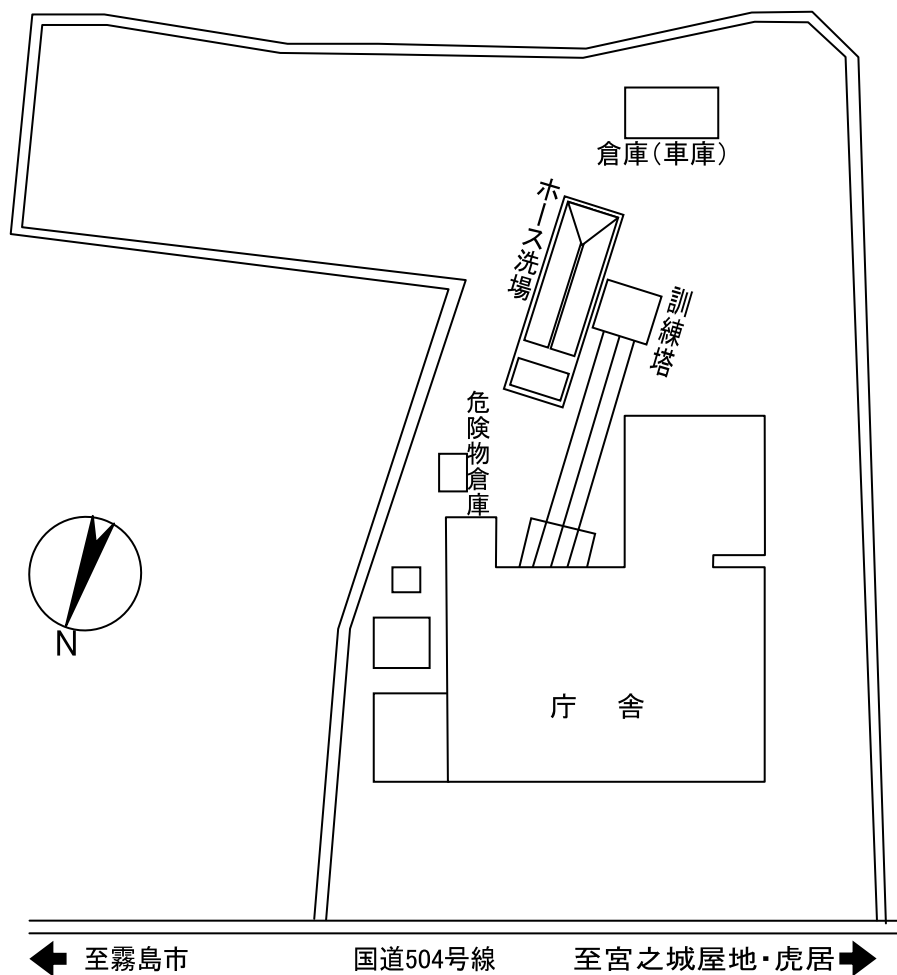
- (ア) 危険物の規制に関する事。
- (イ) 危険物貯蔵所等に対する立入検査に関する事。
- (ウ) 危険物取扱者及び危険物保安監督者の指導に関する事。
- (エ) 液化石油ガス及び高圧ガスの保安指導に関する事。
- (オ) 液化石油ガス販売事業許可等の意見書交付に関する事。
- (カ) 危険物貯蔵所等及び火災予防の違反処理に関する事。
- (キ) 鹿児島県事務処理の特例に関する条例(平成12年鹿児島県条例第7号)第2条の規定により市町村が処理することとされた事務に関する事。
- (ク) 危険物安全協会の事務に関する事。
- (ケ) 危険物規制事務の統計、調査及び報告に関する事。
- (コ) 火災予防査察に関する事。
- (サ) 旅館、ホテルの意見書の交付及び防火対象物の表示等に関する事。



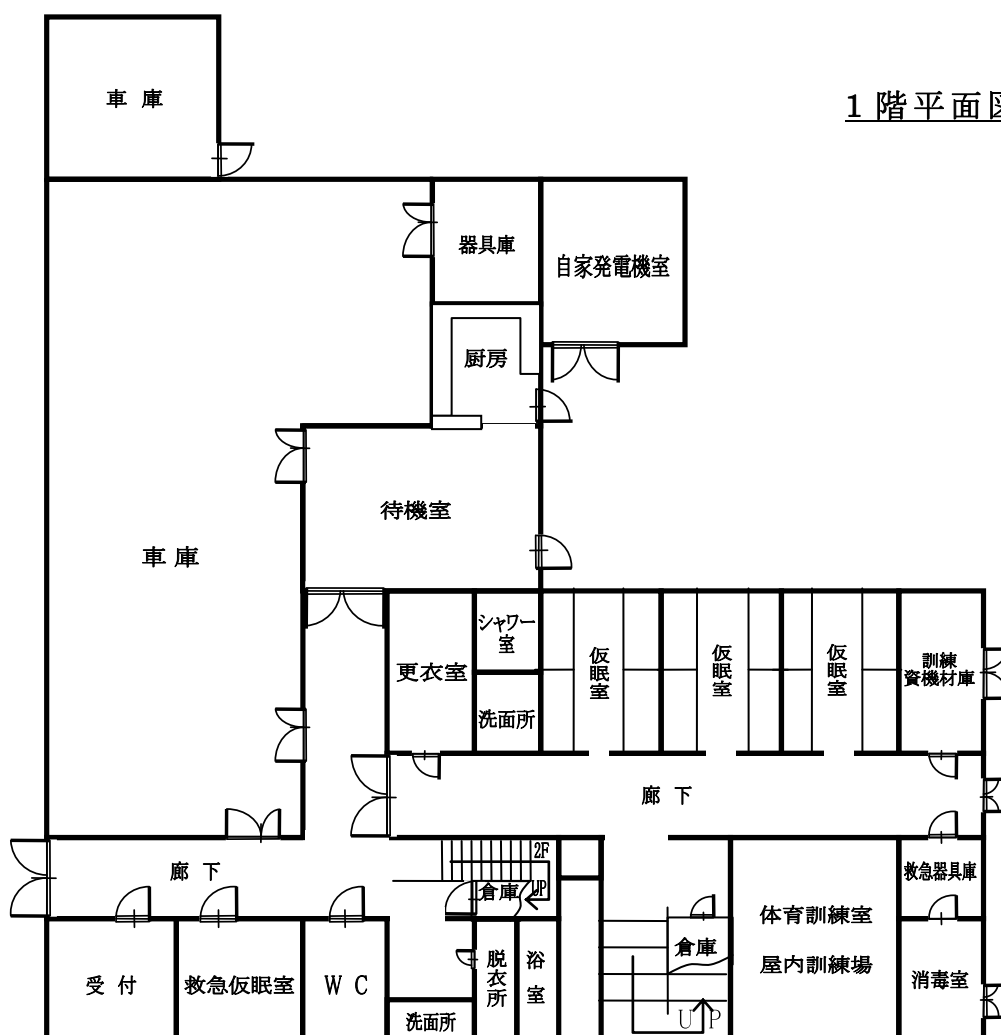
消防庁舎の概要

所在地	▽ 鹿児島県薩摩郡さつま町時吉 3 6 6 番地	
	▽ 郵便番号	8 9 5 - 1 8 1 6
	▽ 代表電話番号	(0 9 9 6) 5 2 - 0 1 1 9
	▽ F A X 番号	(0 9 9 6) 5 3 - 0 1 1 9
	▽ 災害発生時の自動案内	(0 9 9 6) 5 2 - 2 2 0 1
	▽ ホームページアドレス	http://119.satsuma-net.jp/
	▽ e-mailアドレス	shobo@satsuma-net.jp
敷地面積	▽ 4 5 5 4 . 2 7 m ²	
庁舎建築面積	▽ 1 4 8 7 . 4 3 m ²	1 階 6 3 0 . 1 7 5 m ²
		2 階 5 8 9 . 6 5 0 m ²
		3 階 1 5 7 . 7 7 5 m ²
		PH 1 階 1 8 . 5 1 0 m ²
		訓練塔・倉庫等 9 1 . 3 2 0 m ²
建築構造	▽ 鉄筋コンクリート造 3 階建	
竣工年月日	▽ 昭和 5 6 年 3 月 2 5 日	

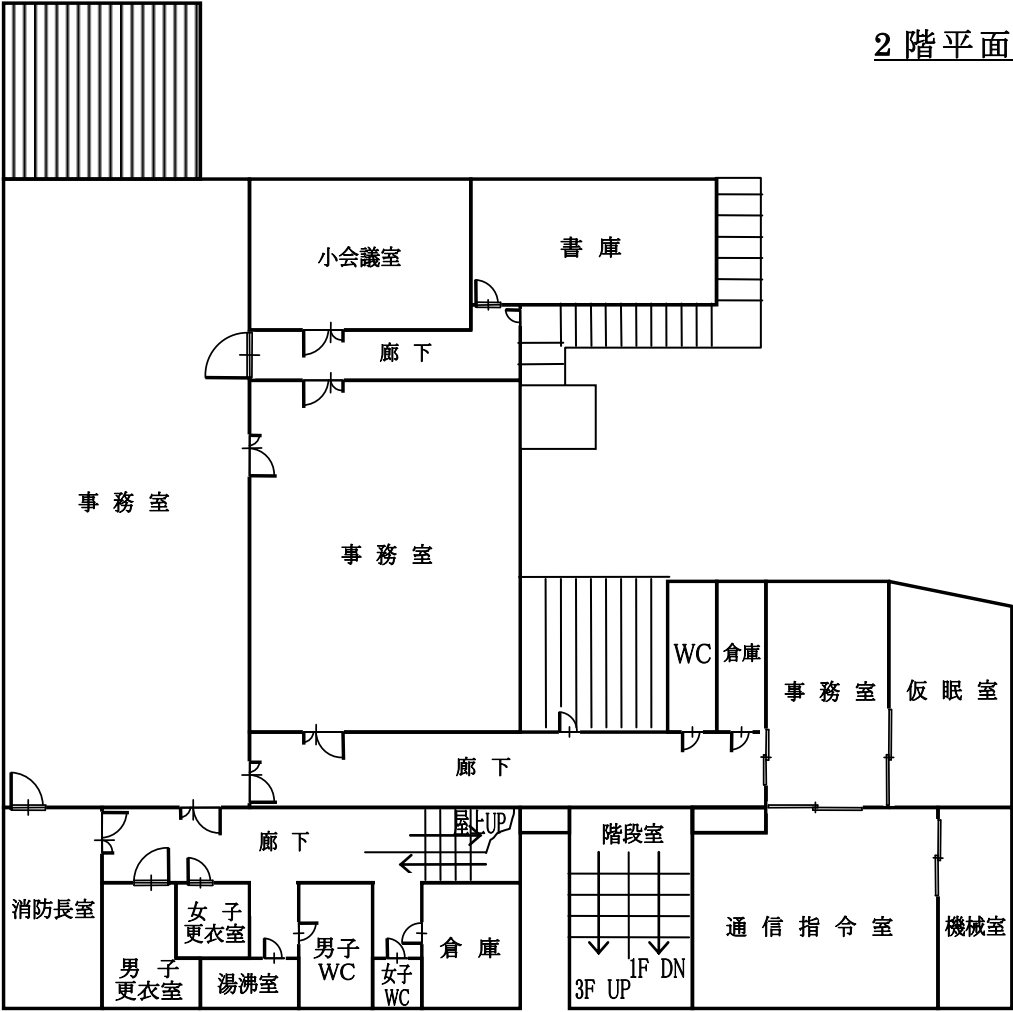
配置図



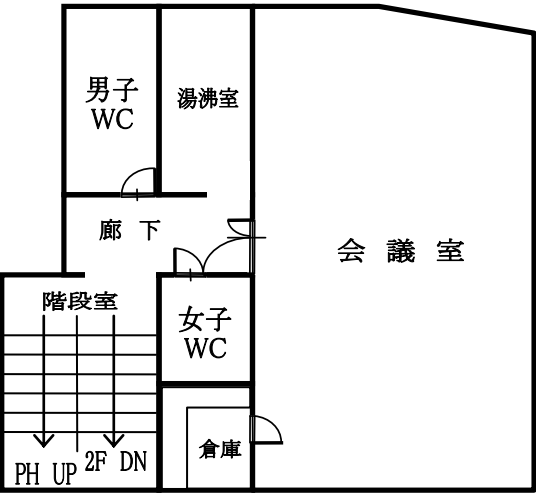
1 階平面図



2 階平面図



3 階平面図



平成28年度消防予算額(当初)

(単位:千円)

款・項・目		節	平成27年度	平成28年度	比較増減
9. 消防費			616,746	1,005,058	388,312
1. 消防費			616,746	1,005,058	388,312
	1. 常備消防費		346,025	356,065	10,040
		給料	152,991	154,921	1,930
		職員手当等	89,195	91,802	2,607
		共済費	49,020	51,456	2,436
		賃金	0	0	0
		報償費	107	121	14
		旅費	748	1,309	561
		需用費	10,852	11,562	710
		役務費	2,467	2,790	323
		委託料	855	1,010	155
		使用料及び賃借料	571	595	24
		原材料費	122	55	△ 67
		備品購入費	0	0	0
		負担金補助及び交付金	39,097	40,444	1,347
		公課費	0	0	0
	2. 非常備消防費		66,284	82,014	15,730
		報酬	19,727	19,727	0
		報償費	1,488	1,437	△ 51
		旅費	29,424	33,757	4,333
		需用費	3,339	15,029	11,690
		役務費	38	17	△ 21
		委託料	94	94	0
		使用料及び賃借料	46	46	0
		負担金補助及び交付金	12,128	11,907	△ 221
	3. 消防施設費		158,824	118,225	△ 40,599
		旅費	0	0	0
		需用費	4,750	4,270	△ 480
		役務費	1,750	1,604	△ 146
		委託料	106,217	9,243	△ 96,974
		使用料及び賃借料	6,681	1,886	△ 4,795
		工事請負費	2,500	65,202	62,702
		原材料費	600	600	0
		公有財産購入費	0	0	0
		備品購入費	33,300	32,385	△ 915
		負担金補助及び交付金	2,113	2,174	61
		公課費	913	861	△ 52
	4. 災害対策費		45,613	448,754	403,141
		報酬	114	114	0
		職員手当等	5,000	5,000	0
		報償費	130	230	100
		旅費	154	162	8
		需用費	3,323	3,232	△ 91
		役務費	686	690	4
		委託料	33,797	9,198	△ 24,599
		使用料及び賃借料	526	584	58
		原材料費	0	0	0
		工事請負費	0	427,900	427,900
		公有財産購入費	0	175	175
		備品購入費	0	0	0
		負担金補助及び交付金	1,840	1,251	△ 589
		補償補填及び賠償金	0	150	150
		積立金	43	43	0
		公課費	0	25	25

消防力の整備指針と現況

平成28年4月1日現在

種 別 \ 区 分	基準数	現有数	過不足数	充足率 (%)
動力消防ポンプ	2	2	0	100
署所	1	1	0	100
救急自動車	2	2	0	100
救助工作車	1	1	0	100
指揮車	1	1	0	100
非常用消防自動車	1	0	△ 1	0
非常用救急自動車	1	1	0	100
消防職員数	89	45	△ 44	50.6

消防水利の現況

平成28年4月1日現在

地域別 \ 区 分		宮之城	鶴 田	薩 摩	合 計
消 火 栓	公設	235	108	125	468
	私設				
防 火 水 槽 (公 設)	20m ³ 以上40m ³ 未満	28	1	6	35
	40m ³ 以上100m ³ 未満	86	58	24	168
	100m ³ 以上				
防 火 水 槽 (私 設)	20m ³ 以上40m ³ 未満	60	9	25	94
	40m ³ 以上100m ³ 未満		3	3	6
	100m ³ 以上				
そ の 他	河溝等	101	29	34	164
	プール	12	4	4	20
	濠池等	1			1

職員の配置状況

平成28年4月1日現在

階 級 配 置		消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 吏 員	合 計
消 防 課	消防長	1							1
	消防課長		1						1
	消防課長補佐		(1)					(1)	(2)
	総務係			1	1			2	4
	消防団係		1		2			1	4
	予防係		1	2	1	1	3		8
	保安指導係		1		2		4		7
	警防係			2	2	1	5		10
	救急係			1	2		1		4
	通信指令係		1	1	3	1			6
合 計		1	5 (1)	7	13	3	13	3 (1)	45 (2)
署	署長		1						1
	署長代理		1						1
	小隊長		1	1					2
	小隊長代理			2					2
	分隊長			3	6				9
	分隊長代理				4				4
	隊員					2	13		15
	小 計		3	6	10	2	13		34

※ 消防課（ ）数は、課長補佐職が総務係長・保安指導係長と兼任

※ 署員は消防課職員と兼務

職員の階級と勤務年数

平成28年4月1日現在

階 級 年 数	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 吏 員	合 計
3 年未満						9	3	12
3 年～ 5 年						2		2
6 年～10年					2	2		4
11年～15年				3	1			4
16年～20年			1	5				6
21年～25年			2	4				6
26年～30年			4	1				5
31年～35年		4						4
36年以上	1	1						2
合 計	1	5	7	13	3	13	3	45

職員の階級別年齢

平成28年4月1日現在

階 級 年 齢	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事務吏員	合計
18歳～20歳						1		1
21歳～25歳						8		8
26歳～30歳						4	1	5
31歳～35歳					3			3
36歳～40歳			2	7				9
41歳～45歳			2	6				8
46歳～50歳			3				1	4
51歳～55歳		3					1	4
56歳以上	1	2						3
合 計	1	5	7	13	3	13	3	45
平 均 年 齢	59	56	46	41	32	23	43	40

職員の研修状況

平成28年4月1日現在

階 級 科 目		消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	合計	
消防学校	初任科	1	5	7	13	3	9	38	
	初級幹部科	1	5	3				9	
	中級幹部科	1	3	1				5	
	上級幹部科							0	
	救助科	1	5	5	4	1		16	
	予防科（含予防査察科）	1	5	5	5	1		17	
	警防科	1	2					3	
	火災調査科		2	2	6			10	
	救 急	救急Ⅰ課程	1	5	6	5			17
		救急Ⅱ課程	1	4	5	5			15
		救急科（含標準課程）			2	8	3	8	21
		気管挿管講習		1	2	3			6
救急救命士研修		1	1	2	8	1		13	
消防大学校								0	

職員の特殊技能資格状況

平成28年4月1日現在

種別 \ 階級	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 吏 員	合 計
第1種普通自動車	1	5	7	13	3	13	3	45
第1種大型自動車		2	7	7	1	1		18
第1種中型自動車	1			3	2	5		11
けん引			1					1
大型二輪車			2	4	1	1		8
普通二輪車			2	4	2	5		13
3級自動車整備士			1					1
第2級陸上特殊無線技士	1	5	3					9
第3級陸上特殊無線技士			4	12	2	2		20
乙種危険物取扱者		1	4	12	2	5	1	25
乙種消防設備士				3				3
ガス溶接士	1	1	7	1				10
潜水士		1	4	4	3	3		15
救急隊員資格〔135H〕 救急Ⅰ課程	1	5	6	5				17
救急Ⅱ課程	1	4	5	5				15
救急科(含標準課程)			2	8	3	9		22
救急救命士	1	1	2	8	1	3		16
うち気管挿管認定		1	2	8	1			12
うち薬剤投与認定		1	2	8	1			12
予防技術検定			3	1				4
2級小型船舶操縦士 (湖川含む)		2	4	6				12
小型移動式クレーン		2	7	5	2	1		17
玉掛け		4	6	7	1			18
特定化学物質等作業主任者		1						1
アマチュア無線	1	1	1		1	1	1	6
ボイラー取扱技能				1		1		2
准看護師					1			1

消防用車両

平成28年4月1日現在

車種	区分	車名	取得年月日	排気量	ポンプ級別 又は型式	車番	備考
水槽付ポンプ車		日野 レンジャー	平成22年 2月 9日	6,400	A-2	鹿児島800 は1199	災害対応特殊水槽付 消防ポンプ車Ⅱ型
ポンプ車		三菱 キャンター	平成16年 1月29日	5,240	A-2	鹿児島800 さ6583	
救急車		トヨタ ハイメディック	平成15年 3月19日	3,378	高規格	鹿児島800 さ5571	(社)日本損害保険協会 寄贈
救急車		トヨタ ハイメディック	平成22年12月10日	2,693	高規格	鹿児島800 す2878	
救急車		ニッサン パラメディック	平成27年 2月 3日	3,498	高規格	鹿児島800 す6016	
救助工作車		日野 レンジャー	平成22年 6月18日	6,400		鹿児島800 は1241	救助工作車Ⅱ型
指揮車		ホンダ CR-V	平成18年11月30日	2,350		鹿児島800 さ9601	日本特殊陶業(株) 寄贈
連絡車		日産 ステージャ	平成12年12月25日	1,990		鹿児島800 さ2506	日本特殊陶業(株) 寄贈
広報車		ホンダ フィットシャトル	平成26年 3月 7日	1,339		鹿児島800 す5347	
資機材搬送車		日野 デュトロ	平成22年 2月15日	4,000		鹿児島800 す2208	移動式クレーン装備
小型搬送車		スバル サンバー	平成24年 6月20日	660		鹿児島880 あ 390	

特殊機械器具

平成28年4月1日現在

	品 名	数量		品 名	数量
救助用 資器材	油圧式救助器具一式(エンジンポンプ・電動)	2	救急用 資器材	患者監視装置	3
	可搬式ウィンチ	2		うち12誘導心電計	2
	エンジンカッター	2		自動体外式除細動器	6
	エアツール一式	1		輸液ポンプ	2
	救助幕	1		吸引器	4
	バスケット担架	1		自動式人工呼吸器(車内用、携帯用)	6
	救命索発射装置	1		リトルジュニア	2
	二連梯子	1		レサシベビー	1
	三連梯子	2		パルスオキシメーター	4
	空気呼吸器	11		耐刃ベスト	3
	マット型空気ジャッキ一式	1		バックボード	5
	酸素呼吸器	1		AEDトレーナー	9
	ガス溶断器	1		ショートボード	3
	救命ボート	2		高度救命処置シュミレーター	2
	船外機	2		救急用カプノメータ	3
	削岩機	1		オゾン殺菌装置	1
	潜水器具一式	9		殺菌線消毒ロッカー	1
	画像探索機	1			
	携帯警報機	2			
	移動式クレーン	2			
消防用 資器材	照明装置・投光器	2・4	その 他の 資器材	フレーム式展張テント(ドラッシュテント)	1
	チェーンソー	3		発電機	6
	送排風機	2		冷暖房空調機(テント用全天候型)	1
	高圧噴霧装置	1		空気充填機	1
	化学消火用簡易発泡器	4		エアータント	1
	温度測定器	1			
	複合ガス検知器	1			
	化学防護衣(陽圧式・簡易式)	2・2			

予 防

防火対象物現況と予防査察状況

中高層建築物現況

防火管理状況

消防法関係・火災予防条例等届出状況

消防同意事務処理状況

消防用設備等検査状況

防火対象物点検結果報告状況

広報活動実施状況

防火管理者資格取得講習会実施状況

危険物施設現況と査察状況

危険物施設数量・種類別状況

危険物規制事務処理状況

危険物規制事務手数料徴収状況

煙火消費許可事務及び手数料徴収状況

防火対象物現況と予防査察状況

多数の人が利用する建築物は、火災が発生した場合人命危険が大きいので、一定規模以上の建築物については、防火管理者の選任及び消火設備、警報設備、避難設備などの消防用設備等の設置と維持管理が消防法で義務づけられている。

平成28年4月1日現在

地域別 防火対象物区分		宮之城	鶴 田	薩 摩	総 数	査察状況
1	イ 劇場等	2		1	3	1
	ロ 公会堂等	18	5	4	27	10
2	イ キャバレー等					
	ロ 遊技場等	4	1		5	5
	ハ 風俗営業等					
	ニ カラオケボックス等					
3	イ 料理店等					
	ロ 飲食店	15	1	6	22	8
4	百貨店等	31	2	2	35	23
5	イ 旅館等	9	4	1	14	12
	ロ 共同住宅等	108	5	2	115	5
6	イ 病院等	22	1	2	25	21
	ロ 老人短期入所施設等	10	5	3	18	18
	ハ 老人デイサービスセンター等	16	3	4	23	11
	ニ 幼稚園等	1	1	1	3	1
7	学校等	43	9	9	61	21
8	図書館等	2	1	1	4	
9	イ 蒸気・熱気浴場等					
	ロ 一般浴場	4	1	2	7	5
10	車両の停車場等					
11	神社・寺院等	8	1	3	12	
12	イ 工場等	124	37	33	194	25
	ロ 映画スタジオ等					
13	イ 自動車車庫等	15	1	1	17	
	ロ 飛行機等格納庫					
14	倉庫	58	15	26	99	
15	その他の事業場	192	78	65	335	17
16	イ 特定複合用途防火対象物	51	8	8	67	20
	ロ 非特定複合用途防火対象物	37	6	4	47	2
合 計		770	185	178	1,133	205

※ 延べ面積が150㎡以上で棟別とする

中高層建築物現況

平成28年4月1日現在

防火対象物の区分			3階建	4階建	5階建	合 計
1	イ	劇場等				
	ロ	公会堂等	1			1
2	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等				
	ハ	風俗営業等				
	ニ	カラオケボックス等				
3	イ	料理店等				
	ロ	飲食店	1			1
4		百貨店等	1			1
5	イ	旅館等	1			1
	ロ	共同住宅等	14	6	1	21
6	イ	病院等	7	2	1	10
	ロ	老人短期入所施設等	1	2		3
	ハ	老人デイサービスセンター等				
	ニ	幼稚園等				
7		学校等	6			6
8		図書館等				
9	イ	蒸気・熱気浴場等				
	ロ	一般浴場				
10		車両の停車場等				
11		神社・寺院等				
12	イ	工場等	4			4
	ロ	映画スタジオ等				
13	イ	自動車車庫等				
	ロ	飛行機等格納庫				
14		倉庫	1			1
15		その他の事業場	7			7
16	イ	特定複合用途防火対象物	3		1	4
	ロ	非特定複合用途防火対象物	6			6
合 計			53	10	3	66

防火管理状況

多数の者が出入りし、勤務し、又は居住する建築物で一定の人員（30人以上又は50人以上）を収容する建築物には、防火管理者を定めて消防計画の作成、消火、通報、避難訓練の実施、消防用設備等の点検整備など、防火管理上必要な業務の実施が義務づけられている。

平成28年4月1日現在

防火対象物区分			甲種防火対象物			乙種防火対象物		
			防火 第 対 8 象 物	選 防 解 火 任 管 届 理 済 者	作 消 成 防 届 計 出 画 済	防火 第 対 8 象 物	選 防 解 火 任 管 届 理 済 者	作 消 成 防 届 計 出 画 済
1	イ	劇場等	1	1	1			
	ロ	公会堂等	15	15	13	7	2	2
2	イ	キャバレー等						
	ロ	遊技場等	5	5	5			
	ハ	風俗営業等						
	ニ	カラオケボックス等						
3	イ	料理店等						
	ロ	飲食店	11	11	11	6	4	4
4		百貨店等	20	20	20	6	5	3
5	イ	旅館等	8	8	8			
	ロ	共同住宅等	3	2	2			
6	イ	病院等	9	9	9			
	ロ	老人短期入所施設等	17	17	17			
	ハ	老人デイサービスセンター等	16	16	16	1	1	1
	ニ	幼稚園等	1	1	1			
7		学校等	18	18	18			
8		図書館等	2	2	2	1	1	1
9	イ	蒸気・熱気浴場等						
	ロ	一般浴場				3	3	3
10		車両の停車場等						
11		神社・寺院等	3	1	0	4	2	1
12	イ	工場等	10	10	10			
	ロ	映画スタジオ等						
13	イ	自動車車庫等						
	ロ	飛行機等格納庫						
14		倉庫						
15		その他の事業場	18	14	14	1	1	1
16	イ	特定複合用途防火対象物	26	25	25	3	3	3
	ロ	非特定複合用途防火対象物	5	4	4			
合 計			188	179	176	32	22	19

消防法関係・火災予防条例等届出状況

消防用設備等点検結果報告、火気使用設備、少量危険物等の貯蔵及び取扱い等について、火災未然防止のため、消防法・火災予防条例等により届出が義務づけられている。

平成27年度

月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
各種届出														
消防用設備等点検結果報告		20	12	22	31	12	10	16	11	17	8	27	42	228
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱い開始届出			2	1			1	1	1		1			7
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱い廃止届出						3								3
指定可燃物貯蔵届出														0
火災予防条例	防火対象物使用開始届出		1				1	1			3	1		7
	ボイラー設置届出		1		1	2	1	1	1			1	1	9
	変電設備設置届出						1			1		3	1	6
	蓄電池設備設置届出		3						4	1	1			9
	発電設備設置届出		1							1	2	3	2	9
	乾燥設備設置届出													0
	少量危険物貯蔵・取扱い届出	2		1	2	3	2					2	5	17
	少量危険物貯蔵・取扱い廃止届出		2							1		1		4
	火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為の届出	10	14	2	10	11	18	16	15	46	52	38	18	250
	煙火（打ち上げ・仕掛け）届出		2		4	3	14	2		1		2	1	29
例	催物開催届出							1						1
	露店等の開設届出		1	2	2	2		2	2	2	1	1		15
	道路工事届出	4	6	4	15	20	11	14	25	39	26	23	10	197
合 計		36	45	32	65	56	59	54	59	109	94	102	80	791

消防同意事務処理状況

消防法第7条と建築基準法第93条に基づいて、建築物の設計の段階で防火の専門家である消防機関が、防災の面から建築物をチェックする制度である。

平成27年度

防火対象物の区分			新 築	増 築	その他	合 計
区 分						
1	イ	劇場等				
	ロ	公会堂等				
2	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等				
	ハ	風俗営業等				
	ニ	カラオケボックス等				
3	イ	料理店等				
	ロ	飲食店				
4		百貨店等				
5	イ	旅館等				
	ロ	共同住宅等				
6	イ	病院等				
	ロ	老人短期入所施設等				
	ハ	老人デイサービスセンター等		2		2
	ニ	幼稚園等				
7		学校等				
8		図書館等				
9	イ	蒸気・熱気浴場等				
	ロ	一般浴場				
10		車両の停車場等				
11		神社・寺院等				
12	イ	工場等		5		5
	ロ	映画スタジオ等				
13	イ	自動車車庫等				
	ロ	飛行機等格納庫				
14		倉庫	1	1		2
15		その他の事業場	3	1		4
16	イ	特定複合用途防火対象物	1			1
	ロ	非特定複合用途防火対象物	1			1
専用住宅			2	1		3
その他の建築物						
合 計			8	10		18
建築確認通知			22	2		24

消防用設備等検査状況

防火対象物に設置が義務づけられている消防用設備等については、工事着工前にその計画が消防法令の技術上の基準に適合しているかどうかを審査し、工事が完成したときは計画どおり設置されているかについて検査を実施し、消防用設備等が技術上の基準に適合していると認めたときに検査済証を交付する。

平成27年度

設 備 別		区 分	着工届	設置届	検査済
消火設備	消火器			10	10
	屋内消火栓設備				
	パッケージ型消火設備		1	1	1
	スプリンクラー設備		2	2	2
警報設備	自動火災報知設備		10	10	10
	消防機関へ通報する火災報知設備		2	2	2
	非常警報設備		2	2	2
避難設備	避難器具			1	1
	誘導灯		3	3	3
	誘導標識			2	2

防火対象物点検結果報告状況

消防法施行令の別表第1に定める特定防火対象物のうち、収容人員が300人以上の対象物又は3階以上に特定用途部分があり、かつ避難階又は地上に直通する階段が1つしかない対象物が報告することとなっている。

平成27年度

項 別			区 分	対象物数	報告済数	特例認定数
1	イ	劇場等		1	1	
	ロ	公会堂等		15	5	4
2	ロ	遊技場		2	2	
3	ロ	飲食店		2	1	
4		百貨店等		3	1	
5	イ	旅館等		2	1	
6	イ	病院等		3		3
16	イ	特定複合用途防火対象物		3	1	1
合 計				31	12	8

広報活動実施状況

住民の防火思想の普及啓発を図るため、春と秋の火災予防運動期間中及び火災気象通報発令時に車両広報を実施し、火災予防を呼びかけた。また幼稚園や学校等に出向し、避難訓練や防火講話、消火器取扱い訓練を行い、火気の正しい取扱い等について指導した。

平成27年度

種別 \ 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	参加人員 配布数
避難訓練	12	10	12	12	3	13	25	24	18	13	17	23	182	8,702人
消防用設備等取扱訓練	10	6	9	12	3	11	23	21	14	8	14	20	151	5,635人
防火講話	7	7	5	7	1	7	21	23	12	13	14	11	128	7,133人
防火映画	3	1	1					2	1	1	3	1	13	808人
庁舎見学		5		2			2						9	155人
防火広報	1	4	1	1	1	5	24	18	11	2	9	19	96	226人
広報紙・防火チラシ配布			1					1					2	16,700部
防火読本配布	1												1	220部

防火管理者資格取得講習会実施状況

◎新規講習

一定の人員以上を収容する建築物には、資格を有する防火管理者を定めることが義務づけられており、その資格は消防機関の行う防火管理者資格取得講習会を受講することによって付与される。

実 施 年	種 別	実 施 場 所	修 了 者 数
昭和 5 6 年		消防署	1 8 名
昭和 5 7 年		消防署	4 1 名
昭和 5 8 年		消防署	3 3 名
昭和 6 0 年		消防署	4 1 名
昭和 6 3 年	甲 種	消防署	2 9 名
平成 2 年	甲 種	消防署	3 2 名
平成 4 年	甲 種	消防署	3 6 名
平成 6 年	甲 種	消防署	3 2 名
平成 8 年	甲 種	消防署	2 5 名
平成 1 0 年	甲 種	消防署	2 9 名
平成 1 1 年	甲 種	消防署	2 9 名
平成 1 3 年	甲 種	消防署	3 0 名
平成 1 4 年	甲 種	消防署	2 0 名
平成 1 5 年	甲 種	消防署	3 2 名
平成 1 6 年	甲 種	消防署	3 1 名
平成 1 7 年	甲 種	消防署	2 5 名
平成 1 8 年	甲 種	消防署	3 2 名
平成 1 9 年	甲 種	消防署	3 2 名
平成 2 0 年	甲 種	消防署	2 4 名
平成 2 1 年	甲 種	消防署	2 8 名
平成 2 2 年	甲 種	消防署	1 6 名
平成 2 3 年	甲 種	消防署	1 8 名
平成 2 4 年	甲 種	消防署	1 8 名
平成 2 5 年	甲 種	消防署	1 5 名
平成 2 6 年	甲 種	消防署	2 7 名
平成 2 7 年	甲 種	消防署	1 5 名
合 計	実 施 回 数	2 6 回	7 0 8 名

◎再講習

不特定多数の人が出入りし、かつ、収容人員が 3 0 0 人以上の事業所において選任されている防火管理者は、5 年ごとに再講習を受けることが義務づけられている。

実 施 年	種 別	実 施 場 所	修 了 者 数
平成 1 8 年	再講習	消防署	1 0 名
平成 2 3 年	再講習	消防署	1 2 名
平成 2 7 年	再講習	消防署	8 名
合 計	実 施 回 数	3 回	3 0 名

危険物施設現況と査察状況

消防法に定める危険物は引火性、発火性があり、いずれも火災になりやすく、しかも消火が困難な物品である。危険物による災害を防止するため、一定量以上の危険物を貯蔵し又は取り扱う場所は、危険物施設として許可を受けなければならないこととして規制されている。現在管内には 130 の危険物施設（完成検査済証交付施設）があり、給油取扱所をはじめ各施設の立入検査を実施している。

平成28年4月1日現在

施設区分 \ 地域別		宮之城	鶴 田	薩 摩	合 計	査察回数
貯蔵所	屋内貯蔵所	6	2		8	7
	屋外タンク貯蔵所	17	2	6	25	19
	屋内タンク貯蔵所	1			1	1
	地下タンク貯蔵所	14	3	5	22	21
	移動タンク貯蔵所	16	2		18	14
	屋外貯蔵所					
	小 計	54	9	11	74	62
取扱所	給油取扱所	20 (7)	3 (2)	9 (4)	32 (13)	29 (11)
	一般取扱所	13	6	5	24	23
	小 計	33 (7)	9 (2)	14 (4)	56 (13)	52 (11)
合 計		87 (7)	18 (2)	25 (4)	130 (13)	114 (11)

※ （ ）内は自家用給油取扱所の数を示す

危険物施設数量・種類別状況

平成28年4月1日現在

施設区分 種類・数量別		貯 蔵 所							取 扱 所			合 計
		屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所	小計	
数 量 別	5倍以下	6		1	9	12	13	41	1	13	14	55
	5倍を超え10倍以下	2			14	5	2	23	4	7	11	34
	10倍 " 50倍 "				2	5	3	10	10	4	14	24
	50倍 " 100倍 "								11		11	11
	100倍 " 150倍 "								2		2	2
	150倍 " 200倍 "								2		2	2
	200倍 " 1000倍 "								2		2	2
	1000倍を超えるもの											
合 計		8		1	25	22	18	74	32	24	56	130
第 4 類	第1石油類	4					5	9	25	1	26	35
	第2石油類	4		1	6	10	16	37	31	11	42	79
	第3石油類	6			19	12	14	51	13	13	26	77
	第4石油類	5						5	18	4	22	27
	動植物油類	1						1				1
	アルコール類	3				1		4	1		1	5

危険物規制事務処理状況

平成28年4月1日現在

施設区分 申請・届出別			貯 蔵 所							取 扱 所			合 計
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小 計	給油取扱所	一般取扱所	小 計	
申 請	許 可	設 置		1			3		4		1	1	5
		変 更		1		1			2				2
	完成検査	設 置		2			3		5		1	1	6
		変 更		1		1			2		1	1	3
	仮使用承認申請										1	1	1
	仮貯蔵・仮取扱承認申請												
	完成検査前検査申請			1					1				1
	許可証等再交付申請												
届 出	保安監督者選解任届		1						1				1
	譲渡・引渡届												
	廃止届												
	工事届									7	1	8	8
	記載事項変更届		2	3		2			7		3	3	10
	品名・数量変更届									1		1	1
	地下タンクの構造及び設置年月日照合願い												
	地下タンク等の在庫管理及び漏洩時の措置に関する計画届					2			2				2
	休止・再開届			1					1				1

危険物規制事務手数料徴収状況

平成27年度（単位：円）

許 可		完成検査	水張検査	加圧検査	仮使用	合計
設置許可	変更許可					
98,000	23,000	70,500	11,000	0	0	202,500

煙火消費許可事務及び手数料徴収状況

平成27年度

許可件数	7件	手数料徴収額	55,300円
------	----	--------	---------

火 災

火災概要

火災概況

地域別発生状況

月別発生状況

曜日別発生状況

時間帯別発生状況

出動状況

現場到着所要時間

原因別火災発生状況

死傷者の発生状況

火災の発見媒体と発見後の行動

初期消火実施状況

初期消火実施者の分類

過去10年間の火災発生件数と損害額

火災以外の出動状況

〈平成 27 年火災一目統計〉

＊ 出火件数（件）

全 国	3 9, 1 1 1
鹿児島県	6 7 0
さつま町	1 1

＊ 焼損棟数（棟）

全 国	3 1, 7 8 0
鹿児島県	5 7 9
さつま町	1 0

＊ 建物焼損床面積（㎡）

全 国	1, 0 3 5, 5 8 1
鹿児島県	2 4, 5 9 7
さつま町	8 5 8

＊ 建物焼損表面積（㎡）

全 国	1 1 2, 7 9 7
鹿児島県	1, 1 5 1
さつま町	2 1

＊ 林野焼損面積（a）

全 国	5 3, 8 4 4
鹿児島県	4 6 0
さつま町	2 1

＊ 死傷者数（人）

全 国	死者	1, 5 6 3	負傷者	6, 3 0 9
鹿児島県	死者	3 3	負傷者	8 1
さつま町	死者	3	負傷者	2

＊ リ災世帯数（世帯）

全 国	1 9, 7 0 1
鹿児島県	3 3 7
さつま町	5

＊ 損害額（千円）

全 国	8 2, 5 2 0, 4 7 9
鹿児島県	1, 0 6 2, 3 2 7
さつま町	2 5, 5 0 2

火災概要

(1) 火災件数

平成 27 年中の火災発生件数は 11 件（宮之城地域 5 件・鶴田地域 1 件・薩摩地域 5 件）で、前年と比較して 2 件減少している。

火災種別ごとにみると、建物火災 6 件・林野火災 2 件・車両火災 1 件・その他の火災 2 件となっている。

(2) 火災による損害

焼損棟数は 10 棟（全焼 6 棟・部分焼 2 棟・ぼや 2 棟）で、前年と比べ 2 棟増加している。

焼損面積は、建物床面積 858 m²・建物表面積 21 m²・林野 21 a が焼失しており、前年と比べ建物床面積が 325 m²、建物表面積が 7 m²、林野面積が 21 a 増加している。

損害額は 25,502 千円（建物 23,791 千円・林野 3 千円・車両 1,008 千円・その他 700 千円）で前年と比べ 7,021 千円増加している。

(3) 出火原因

火災発生件数 11 件を出火原因別にみると、平成 27 年中は『たき火・火入れ』による火災が 3 件（30%）と最も多く、次いで『灯火』『電灯・電話等の配線』『その他』による火災が各 1 件（各 10%）、『不明・調査中』の火災が 5 件（40%）となっている。

(4) 死者・負傷者

火災による死者は 3 人で前年と比べ 2 人増加し、負傷者は 2 人で前年と比べ 1 人増加している。

火災概況

※ △は減

年別 区分		平成27年	平成26年	比較（増減）
出火件数 (件)	建物	6	7	△ 1
	林野	2		2
	車両	1		1
	その他	2	6	△ 4
	合 計	11	13	△ 2
焼損棟数 (棟)	全焼	6	4	2
	半焼		1	△ 1
	部分焼	2	1	1
	ぼや	2	2	
	合 計	10	8	2
建物焼損床面積（㎡）		858	533	325
建物焼損表面積（㎡）		21	14	7
林野焼損面積（a）		21		21
り災世帯（世帯）		5	5	
り災人員（人）		6	15	△ 9
死者（人）		3	1	2
負傷者（人）		2	1	1
損害額 (千円)	建物	23,791	18,432	5,359
	林野	3		3
	車両	1,008		1,008
	その他	700	49	651
	合 計	25,502	18,481	7,021

地域別発生状況

平成27年中

地域別 区分		宮之城	鶴田	薩摩	合 計
出火件数 (件)	建物	2		4	6
	林野	1	1		2
	車両	1			1
	その他	1		1	2
	合 計	5	1	5	11
焼損棟数 (棟)	全焼	1		5	6
	半焼				
	部分焼	1		1	2
	ぼや	1		1	2
	合 計	3		7	10
建物焼損床面積 (㎡)		140		718	858
建物焼損表面積 (㎡)		16		5	21
林野焼損面積 (a)		3	18		21
り災世帯 (世帯)		1		4	5
り災人員 (人)		1		5	6
死者 (人)		2		1	3
負傷者 (人)			1	1	2
損害額 (千円)	建物	2,964		20,827	23,791
	林野		3		3
	車両	1,008			1,008
	その他	700			700
	合 計	4,672	3	20,827	25,502

月別発生状況

平成27年中

月別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
火災 種別	建物				1		1			2	1		1	6
	林野			1		1								2
	車両		1											1
	その他							1	1					2
合 計			1	1	1	1	1	1	1	2	1		1	11

曜日別発生状況

平成27年中

曜日別		日	月	火	水	木	金	土	合 計
火災 種別	建物	1	2		1		1	1	6
	林野				1			1	2
	車両								
	その他			1		1			2
合 計		1	2	1	2	1	1	2	10

※ 車両火災1件については、発生日不明のため計上してありません

時間帯別発生状況

平成27年中

時間帯別		0時 ～ 2時 未満	2時 ～ 4時 未満	4時 ～ 6時 未満	6時 ～ 8時 未満	8時 ～ 10時 未満	10時 ～ 12時 未満	12時 ～ 14時 未満	14時 ～ 16時 未満	16時 ～ 18時 未満	18時 ～ 20時 未満	20時 ～ 22時 未満	22時 ～ 24時 未満	合 計
火災 種別	建物		1		1	1			2				1	6
	林野							1	1					2
	車両													
	その他				1			1						2
合 計			1		2	1		2	3				1	10

※ 車両火災1件については、発生日不明のため計上してありません

出動状況

平成27年中

種別 \ 区分	火災 件数	出動 件数	延出動人員（人）			延出動車両（台）		
			総員	吏員	団員	総数	署	団
建物	6	6	375	88	287	50	29	21
林野	2	2	110	22	88	15	7	8
車両	1							
その他	2	1	35	11	24	7	4	3
合 計	11	9	520	121	399	72	40	32

※ 署出動分：救急車等の車両及び人員を含む

現場到着所要時間

平成27年中

所要時間 \ 区分		5分 未満	5分 ～ 10分未満	10分 ～ 15分未満	15分 ～ 20分未満	20分 以上	平均 (分)
火災 種別	建物		3	3			9.5
	林野	1	1				5.0
	車両						
	その他		1				5.0
合 計		1	5	3			8.0
地域 別	宮之城	1	2	1			6.0
	鶴田		1				9.0
	薩摩		1	2			8.0

※ 現場到着所要時間：事後聞知火災を除く火災の出動から現場到着までとする

※ 現場到着平均時間：小数点第2位を四捨五入したもの

原因別火災発生状況

原因別	年別	平成27年		平成26年	
		件 数	割合 (%)	件 数	割合 (%)
たき火・火入れ		3	27.3	5	38.4
電灯・電話等の配線		1	9.1	1	7.7
電気機器・装置		0	0.0	1	7.7
配線器具		0	0.0	1	7.7
たばこ		0	0.0	1	7.7
こたつ		0	0.0	1	7.7
灯火		1	9.1	1	7.7
不明・調査中		5	45.5	1	7.7
その他		1	9.1	1	7.7
合 計		11	100	13	100

死傷者の発生状況

死者の発生した火災

平成27年中

番 号	発生月日	火災種別	出火元の用途	住警器 設置状況	年齢・性別
1	3月2日	車両			55歳・男性
2	6月15日	建物	住宅	設置	60歳・男性
3	9月20日	建物	住宅	設置	75歳・男性

負傷者の発生した火災

平成27年中

番 号	発生月日	火災種別	出火元の用途	住警器 設置状況	年齢・性別
1	5月27日	林野			83歳・男性
2	7月28日	その他			83歳・男性

火災の発見媒体と発見後の行動

平成27年中

発見者 媒体と	発見媒体						発見後の行動				合 計
	炎	煙	音	声	住宅用 火災警報器	その他	消火	通報	他の者へ連絡	その他	
火気取扱者	1						1				1
火元関係者											
火元家族											
通行人		2				1		1	2		3
その他		2	3			1	1	3	1	1	6
合 計	1	4	3			2	2	4	3	1	10

初期消火実施状況

平成27年中

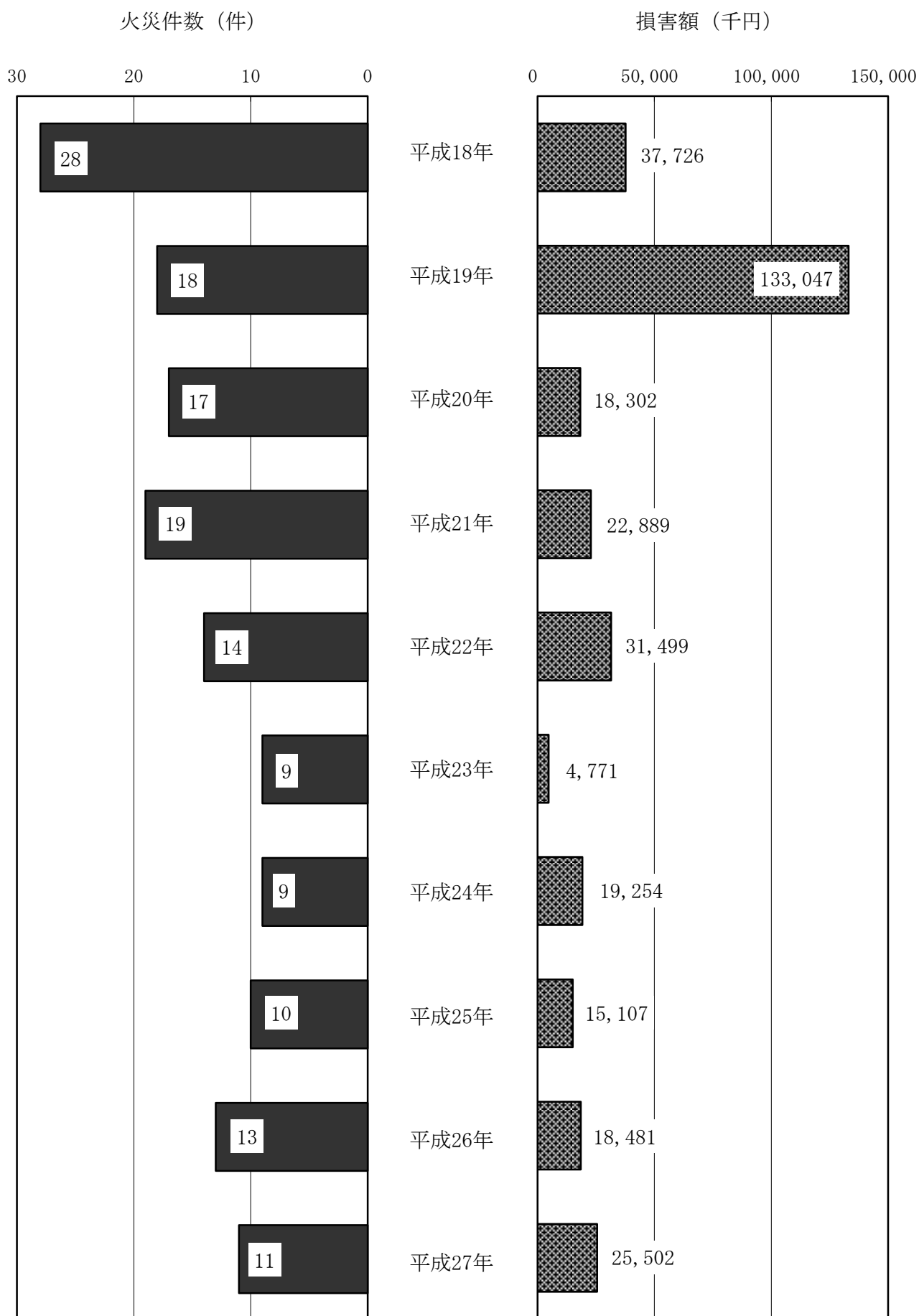
区分 器具等	実施 3件 (30%)		未実施 7件 (70%)
	成功 (10%)	失敗 (20%)	
各種消火器	0件	0件	
水道水等	0件	1件	
その他	1件	1件	
小 計	1件	2件	7件
合 計	10件		

初期消火実施者の分類

平成27年中

区分 消火者	火気取扱者	火元関係者	付近の者	火元家族	通行人	その他	合 計
件数 (件)	2		1				3
割合 (%)	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	100

過去10年間の火災発生件数と損害額



火災以外の出動状況

平成27年中

種別	区分 出 動 件 数	出 動 人 員	出動車両				
			タンク車	ポンプ車	工作車	救急車	その他
誤報	2	12	2	2			
虚報							
自火報鳴動	2	6	2				
危険排除	2	15	2	2			2
怪煙偵察	3	8	2		1		
自然災害	3	9	1		2		1
行方不明者捜索	4	29		4	1		8
救急隊支援	101	269	53	36	1	10	4
その他	2	5					1
合 計	119	353	62	44	5	10	16

救急・救助

救急概要

救急概況

地域別出動状況

月別出動件数

曜日別出動件数

時間帯別出動件数

覚知別出動件数

傷病程度別搬送状況

救急隊員の行った応急処置

年齢区分別搬送状況

現場到着所要時間別出動状況

医療機関収容所要時間別搬送人員

過去10年間の出動件数と搬送人員

救助概要

事故種別活動状況

傷病程度別救助人員

発生場所別救助人員

地域別出動状況

〈平成 27 年救急一目統計〉

※さつま町の人口	22, 628 人	(平成 27 年 1 月 1 日現在推計)	
※出動件数	1, 136 件	(平成 26 年	963 件)
※搬送件数	1, 067 件	(平成 26 年	902 件)
※搬送人員	1, 079 人	(平成 26 年	908 人)
※1 日の平均出動件数	3.1 件	(平成 26 年	2.6 件)
※1 日の平均搬送人員	3.0 人	(平成 26 年	2.5 人)
※1 日の最多出動件数	12 件	(平成 26 年	8 件)
※1 日の最少出動件数	0 件	(平成 26 年	0 件)
※ドクターヘリでの搬送件数	41 件	(平成 26 年	26 件)
※さつま町民の約 20 人に 1 人が救急車で搬送されていることになる			
※多い月は 12 月	109 件	(少ない月は 7 月	79 件)
※多い曜日は日曜日, 金曜日	181 件	(少ない曜日は水曜日	142 件)
※多い時間帯は 10 時～12 時	165 件		
※少ない時間帯は 2 時～4 時	24 件		
救急出動要請は 119 番通報が全体の 69.2% (1, 136 件中 786 件)			

〈平成 27 年救助一目統計〉

※出動件数	24 件	(平成 26 年	12 件)
※活動件数	16 件	(平成 26 年	8 件)
※救助人員	19 人	(平成 26 年	9 人)
※事故種別は交通事故が全体の	91.7%		

救急概要

(1) 出動件数及び搬送人員

平成 27 年中の救急業務は、1,136 件に出動し、1,079 人を搬送した。

これは前年と比較して出動件数が 173 件（18.0%）、搬送人員が 171 人（18.8%）それぞれ増加している。

(2) 事故種別

急病が最も多く 613 件で全体の 54.0%を占めており、次いで転院搬送の 223 件（19.6%）、一般負傷が 148 件（13.0%）、交通事故が 98 件（8.6%）となっている。

(3) 傷病程度

搬送人員 1,079 人を傷病程度別にみると、死亡 33 人（3.1%）、重症 176 人（16.3%）、中等症 517 人（47.9%）、軽症 353 人（32.7%）となっている。

(4) 高齢者の搬送人員

搬送人員 1,079 人中 65 才以上の高齢者が 704 人と全体の 65.2%を占め、このうち 384 人（54.5%）は急病により搬送されている。

救急概況

※ △は減

区 分 事故種別		平成27年					平成26年					比較(増減)				
		出動 件数	搬送 件数	搬送人員			出動 件数	搬送 件数	搬送人員			出動 件数	搬送 件数	搬送人員		
				計	男	女			計	男	女			計	男	女
合 計		1,136	1,067	1,079	550	529	963	902	908	452	456	173	165	171	98	73
火災		3	2	2	2		1	1	1		1	2	1	1	2	△ 1
自然災害		2	1	1		1						2	1	1		1
水難							1	1	1	1		△ 1	△ 1	△ 1	△ 1	
交通事故		98	90	102	47	55	60	51	55	31	24	38	39	47	16	31
労災		7	7	7	5	2	6	6	6	4	2	1	1	1	1	
運動競技		13	13	13	10	3	7	7	7	5	2	6	6	6	5	1
一般負傷		148	141	141	73	68	157	147	148	67	81	△ 9	△ 6	△ 7	6	△ 13
加害		1	1	1	1		2	2	2	1	1	△ 1	△ 1	△ 1		△ 1
自損行為		21	12	12	3	9	7	3	3	1	2	14	9	9	2	7
急病		613	579	579	290	289	535	502	503	248	255	78	77	76	42	34
そ の 他	転院	223	221	221	119	102	184	182	182	94	88	39	39	39	25	14
	医師搬送	6					3					3				
	資機材等輸送															
	その他	1										1				

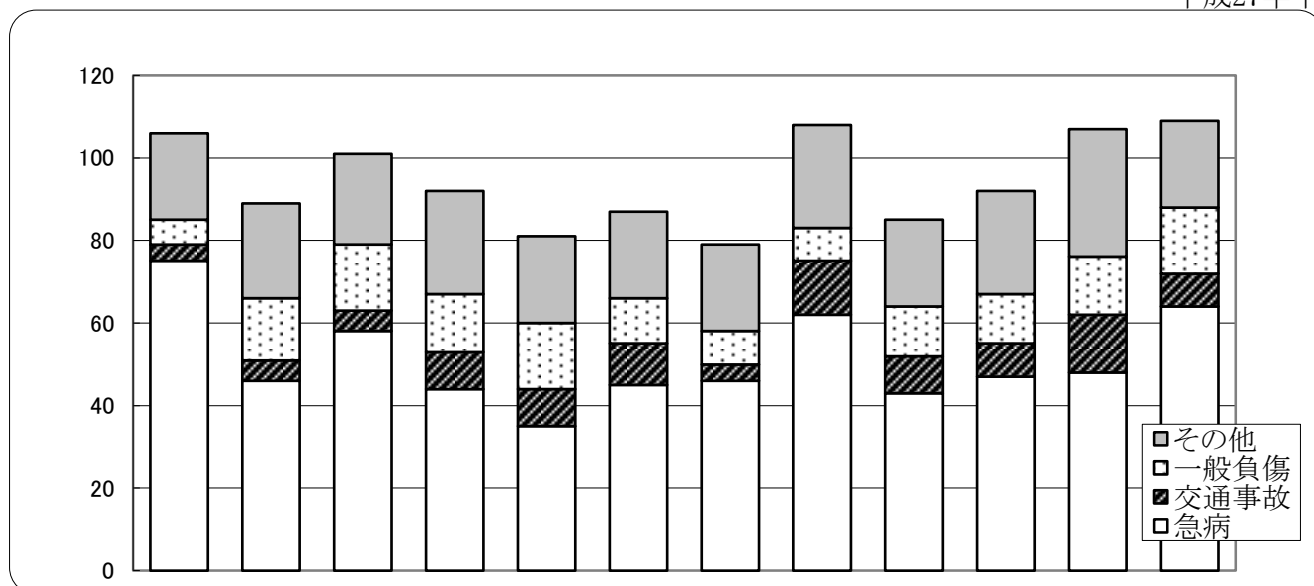
地域別出動状況

平成27年中

事故種別 地域別		火災	自然災害	水難	交通事故	労災	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
宮之城	出動件数	1	2		64	3	13	102	1	11	402	217	816
	搬送件数		1		58	3	13	95	1	7	381	211	770
	搬送人員		1		64	3	13	95	1	7	381	211	776
鶴田	出動件数	1			17			27		4	112	10	171
	搬送件数	1			17			27		1	107	8	161
	搬送人員	1			20			27		1	107	8	164
薩摩	出動件数	1			17	4		19		6	99	2	148
	搬送件数	1			15	4		19		4	91	1	135
	搬送人員	1			18	4		19		4	91	1	138
管外	出動件数											1	1
	搬送件数											1	1
	搬送人員											1	1
合計	出動件数	3	2		98	7	13	148	1	21	613	230	1,136
	搬送件数	2	1		90	7	13	141	1	12	579	221	1,067
	搬送人員	2	1		102	7	13	141	1	12	579	221	1,079

月別出動件数

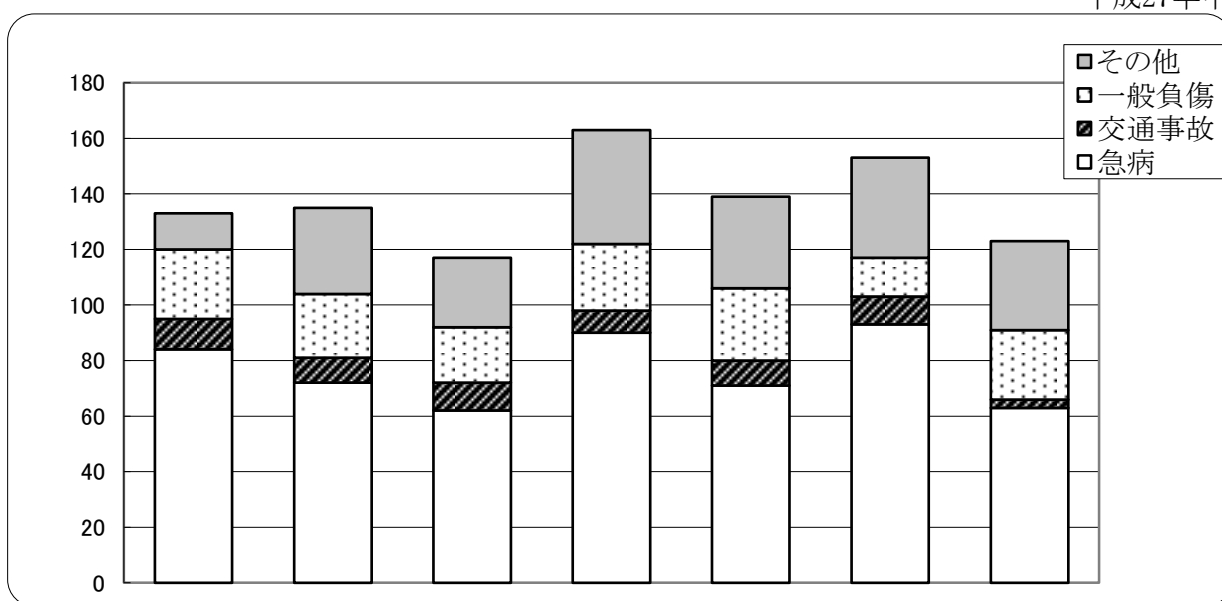
平成27年中



月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出動件数	106	89	101	92	81	87	79	108	85	92	107	109	1,136
構成比	9.3%	7.8%	8.9%	8.1%	7.1%	7.7%	7.0%	9.5%	7.5%	8.1%	9.4%	9.6%	100%

曜日別出動件数

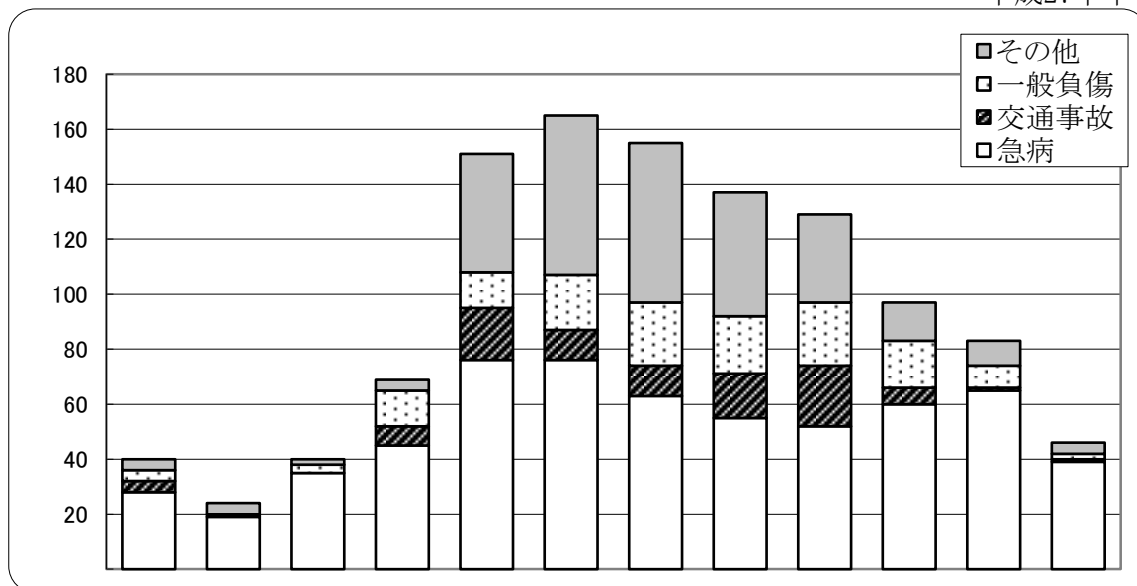
平成27年中



曜日別	日	月	火	水	木	金	土	合計
出動件数	181	172	143	142	150	181	167	1,136
構成比	15.9%	15.1%	12.6%	12.5%	13.2%	15.9%	14.7%	100%

時間帯別出動件数

平成27年中



時間帯	0 ～ 2	2 ～ 4	4 ～ 6	6 ～ 8	8 ～ 10	10 ～ 12	12 ～ 14	14 ～ 16	16 ～ 18	18 ～ 20	20 ～ 22	22 ～ 24	合 計
出動件数	40	24	40	69	151	165	155	137	129	97	83	46	1,136
構成比	3.5%	2.1%	3.5%	6.1%	13.3%	14.5%	13.6%	12.1%	11.4%	8.5%	7.3%	4.0%	100%
火災				1				2					3
自然災害			1	1									2
水難													
交通事故	4			7	19	11	11	16	22	6	1	1	98
労働災害				1	1	1	2	1	1				7
運動競技						7	1	4	1				13
一般負傷	4	1	3	13	13	20	23	21	23	17	8	2	148
加害	1												1
自損行為	2		1	1	5	2	2	1	4	2	1		21
急病	28	19	35	45	76	76	63	55	52	60	65	39	613
その他	1	4			37	48	53	37	26	12	8	4	230

覚知別出動件数

平成27年中

覚知別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合 計	構 成 比
合 計	3	2		98	7	13	148	1	21	613	230	1,136	100%
119番	1	1		80	6	12	123	1	17	519	26	786	69.2%
加入電話	1			15	1	1	23		3	89	203	336	29.6%
駆け付け				1			2		1	5		9	0.8%
その他	1	1		2							1	5	0.4%

傷病程度別搬送状況

平成27年中

傷病程度 事故種別	死亡		重症		中等症		軽症		その他		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
合 計	15	18	85	91	279	238	171	182			550	529
	33		176		517		353				1,079	
構成比	3.1%		16.3%		47.9%		32.7%				100%	
急病	9	14	36	31	146	129	99	115			290	289
交通事故	4	1	5	7	13	14	25	33			47	55
一般負傷	1	2	8	13	30	27	34	26			73	68
その他	1	1	36	40	90	68	13	8			140	117

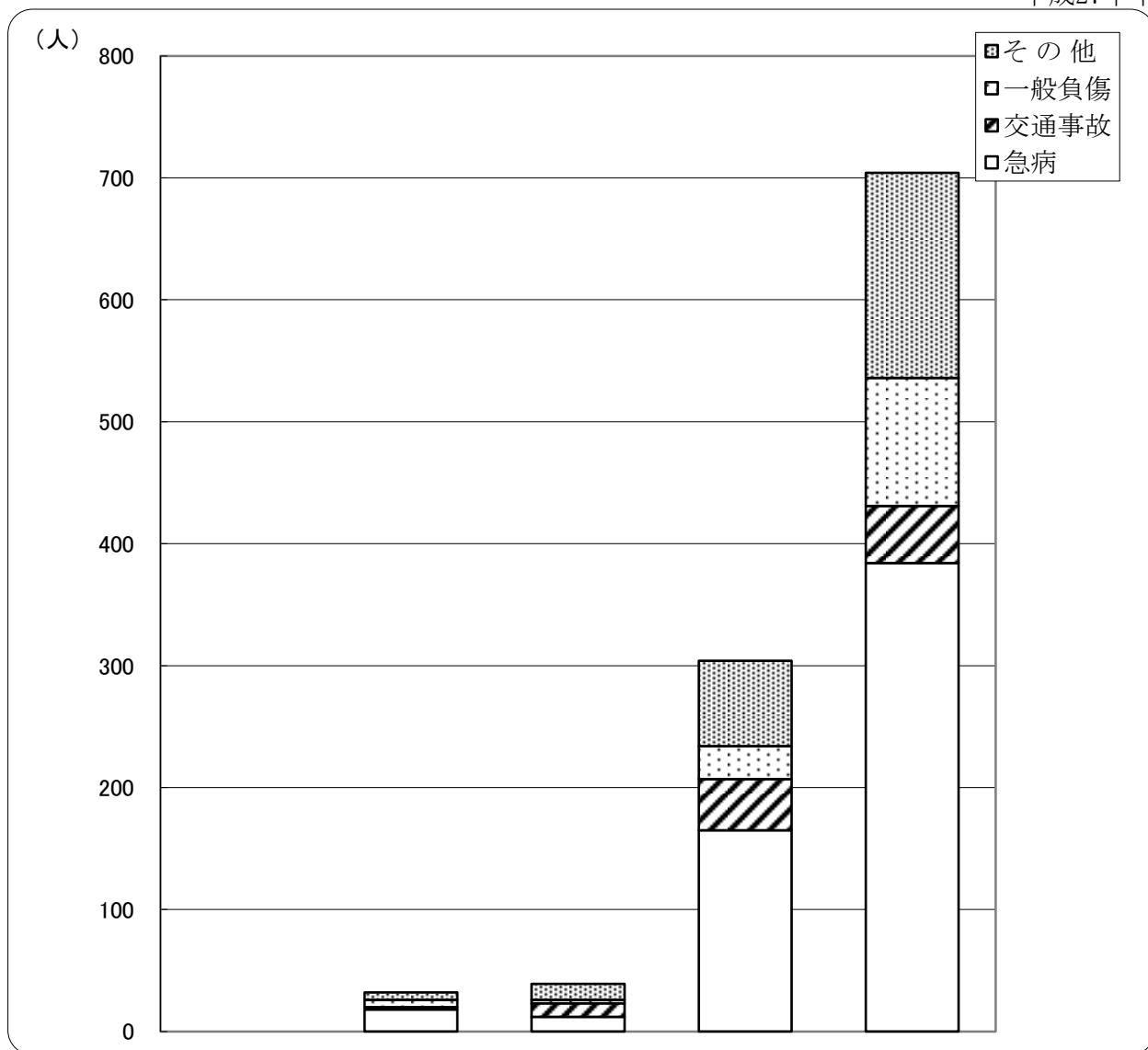
救急隊員の行った応急処置

平成27年中

事故種別 処置別	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	合 計
搬送人員	579	102	141	257	1,079
処置人員	588	105	146	258	1,097
止血	1	3	4	2	10
固定	1	38	15	7	61
人工呼吸	7		2		9
心マッサージ					
うち自動式心マッサージ器					
心肺蘇生	26	5	4	2	37
うち自動式心マッサージ器					
酸素吸入	142	27	22	32	223
気道確保	34	5	6	2	47
うち経鼻エアウェイ	1				1
うち喉頭鏡・鉗子等	1		1		2
うちラリゲルマスク等					
うち気管挿管	5		3		8
保温	23	8	7	4	42
被覆	2	3	26	3	34
在宅療法の維持				1	1
うちA(点滴処置等)					
うちB(外傷処置等)					
うちC(上記A・B以外)				1	1
ショックパンツ					
除細動	4	1	1		6
静脈路確保	4			1	5
薬剤投与	1				1
その他の処置	358	54	79	26	517
血圧測定	537	91	130	104	862
聴診器聴取	120	29	29		178
血中酸素飽和度測定	535	95	133	110	873
心電図	288	37	32	24	381
処置件数	2,083	396	490	318	3,287

年齢区分別搬送状況

平成27年中



事故種別	年齢区分					合計
	新生児 生後 28日 未満	乳幼児 生後 28日 ～ 6歳	少年 7歳 ～ 17歳	成人 18歳 ～ 64歳	高齢者 65歳 以上	
合計	0	32	39	304	704	1,079
構成比	0.0%	3.0%	3.6%	28.2%	65.2%	100%
急病	0	18	12	165	384	579
交通事故	0	2	11	42	47	102
一般負傷	0	6	3	27	105	141
その他	0	6	13	70	168	257

現場到着所要時間別出勤状況

平成27年中

事故種別 所要時間	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
3分未満	6	2	2	8	18
3分以上5分未満	65	11	16	96	188
5分以上10分未満	266	34	72	132	504
10分以上20分未満	269	46	57	30	402
20分以上	7	5	1	11	24
合計	613	98	148	277	1,136
最短(分)	0	0	0	0	
最長(分)	77	69	36	44	
平均現場到着時間 9.4分					

※ 現場到着所要時間: 覚知から現場到着までとする

医療機関収容所要時間別搬送人員

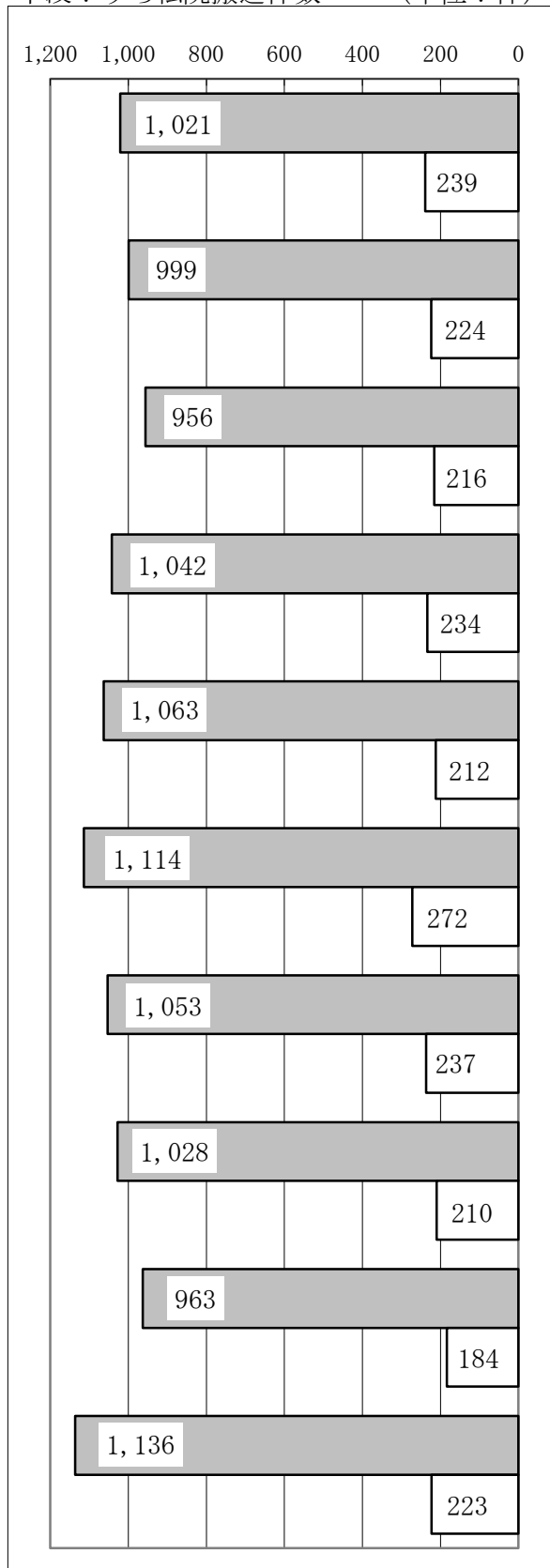
平成27年中

事故種別 所要時間	急病		交通事故		一般負傷		その他		合計	
	うち	管外	うち	管外	うち	管外	うち	管外	うち	管外
10分未満			1						1	
10分以上20分未満	20		6		7		26		59	
20分以上30分未満	126		12		37		23	1	198	1
30分以上60分未満	323	86	55	7	82	16	135	116	595	225
60分以上120分未満	108	87	28	25	15	14	71	70	222	196
120分以上	2	2					2	2	4	4
合計	579	175	102	32	141	30	257	189	1,079	426
最短(分)	13		7		16		12			
最長(分)	136		115		109		148			
平均病院到着時間 45.2分										

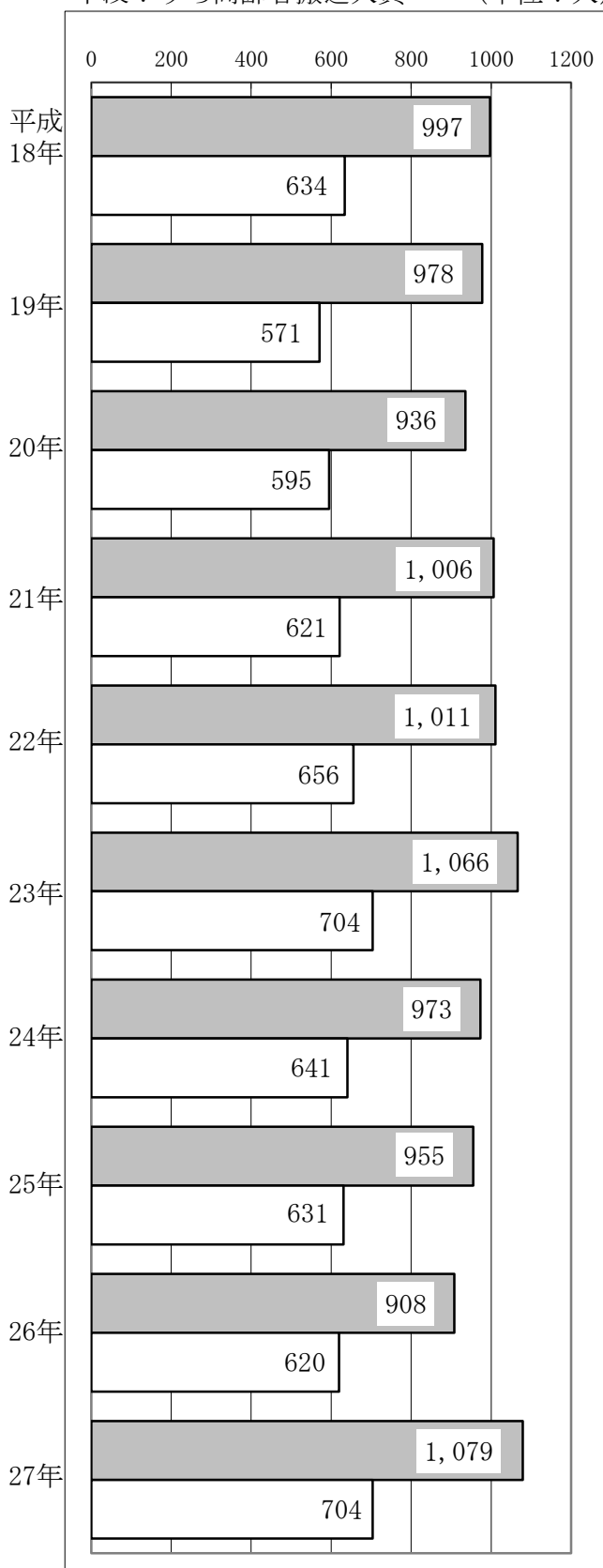
※ 病院収容所要時間: 覚知から病院収容(引継)までとする

過去10年間の出動件数と搬送人員

上段：出動件数
下段：うち転院搬送件数 (単位：件)



上段：搬送人員
下段：うち高齢者搬送人員 (単位：人)



救助概要

(1) 出動件数、活動件数及び救助人員

平成 27 年中における救助活動状況は、出動件数 24 件、活動件数 16 件で 19 人を救助した。

これは前年と比較して、出動件数が 12 件、救助人員が 10 人それぞれ増加している。

(2) 事故種別

出動件数 24 件を事故種別ごとに見ると、交通事故によるものが最も多く 22 件 (91.7%) で、次いでその他の事故が 2 件 (8.3%)、となっている。

(3) 傷病程度

救助人員 19 人を傷病程度別に見ると、死亡 1 人 (5.3%)、重症 4 人 (21.1%)、中等症 8 人 (42.1%)、軽症 5 人 (26.3%)、不搬送 1 人 (5.3%) となっている。

事故種別活動状況

平成27年中

事故種別 内 訳	火 災	交 通 事 故	水 難	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合 計
出動件数		22							2	24
活動件数		15							1	16
救助人員		18							1	19
延出動車両		59							5	64
延出動人員		151							15	166

傷病程度別救助人員

平成27年中

事故種別 傷病程度	火 災	交 通 事 故	水 難	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合 計
死亡		1								1
重症		4								4
中等症		7							1	8
軽症		5								5
その他										
不搬送		1								1
合 計		18							1	19

発生場所別救助人員

平成27年中

事故種別 発生場所		火 災	交通 事故	水 難	自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計
屋 内	住居										
	その他の屋内										
屋 外	道路		16								16
	水 面		2								2
	山岳									1	1
	その他の屋外										
地下											
その他											
合 計			18							1	19

地域別出動状況

平成27年中

事故種別 地域別		火 災	交通 事故	水 難	自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計
宮之城			15							2	17
鶴田			4								4
薩摩			3								3
管外											
合 計			22							2	24

通 信

高機能消防指令センター構成図

消防通信

消防無線状況

防災行政無線吹鳴区分（出勤区分）

防災行政無線設置場所一覧（屋外）

専用回線（119番）着信状況

災害別覚知状況

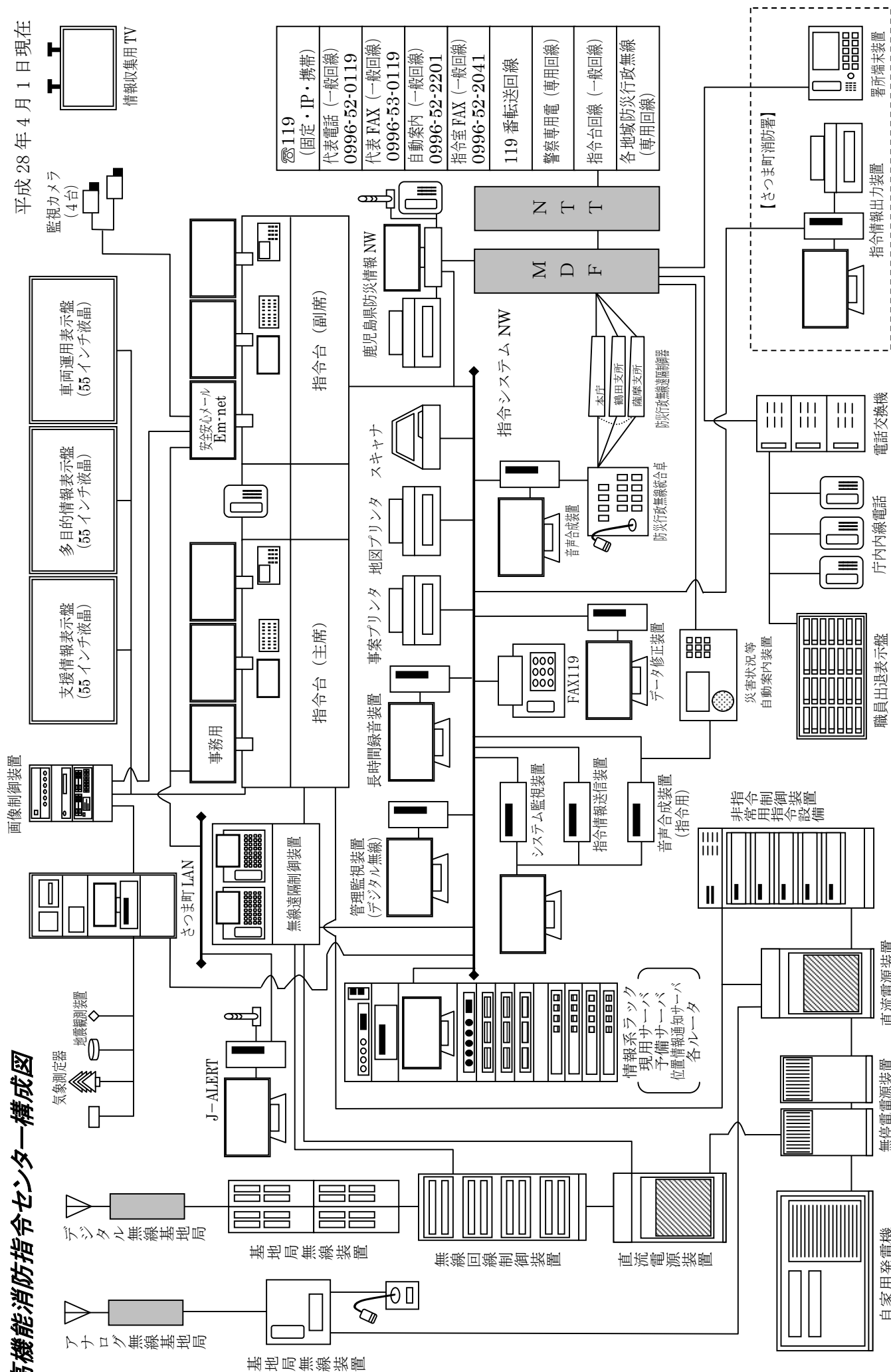
月別医療機関照会状況

曜日別医療機関照会状況

災害等自動案内利用状況

高機能消防指令センター構成図

平成 28 年 4 月 1 日現在



平成28年4月1日現在



消防無線状況

デジタル無線

平成28年4月1日現在

区分 種別	呼出名称	免許番号	出力	有効期間	備考
基地局	さつましょうぼう	九基第 320084号	20W	平成31年5月31日	本部
陸 上 移 動 局	さつましょうぼう1	九移第 10118497号	10W	平成31年5月31日	タンク車
	さつましょうぼう2	九移第 10118498号	10W	平成31年5月31日	連絡車
	さつましょうぼう3	九移第 10118499号	10W	平成31年5月31日	小型搬送車
	さつましょうぼう4	九移第 10118500号	10W	平成31年5月31日	救助工作車
	さつましょうぼう5	九移第 10118501号	10W	平成31年5月31日	広報車
	さつましょうぼう6	九移第 10118502号	10W	平成31年5月31日	資機材搬送車
	さつましょうぼう7	九移第 10118503号	10W	平成31年5月31日	ポンプ車
	さつましょうぼう8	九移第 10118504号	10W	平成31年5月31日	指揮車
	さつまきゅうきゅう1	九移第 10118505号	10W	平成31年5月31日	救急1号車
	さつまきゅうきゅう2	九移第 10118506号	10W	平成31年5月31日	救急2号車
	さつまきゅうきゅう3	九移第 10118507号	10W	平成31年5月31日	救急3号車
	さつましょうぼう11	九移第 10118508号	5W	平成31年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう12	九移第 10118509号	5W	平成31年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう13	九移第 10118510号	5W	平成31年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう14	九移第 10118511号	5W	平成31年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう15	九移第 10118512号	5W	平成31年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう16	九移第 10118513号	5W	平成31年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう17	九移第 10118514号	5W	平成31年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう18	九移第 10118515号	5W	平成31年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう21	九移第 10118516号	5W	平成31年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう22	九移第 10118517号	5W	平成31年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう23	九移第 10118518号	5W	平成31年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう24	九移第 10118519号	10W	平成31年5月31日	可搬型

アナログ無線

平成28年4月1日現在

区分 種別	呼出名称	免許番号	出力	有効期間	備考
基地局	しょうぼうさつま	九基第 5912号	10W	平成28年5月31日	本部
陸 上 移 動 局	しょうぼうさつま1	九移第 172088号	10W	平成28年5月31日	タンク車
	しょうぼうさつま3	九移第 172090号	10W	平成28年5月31日	可搬型
	しょうぼうさつま12	九移第 172095号	5W	平成28年5月31日	携帯型
	しょうぼうさつま13	九移第 172096号	5W	平成28年5月31日	携帯型
	しょうぼうさつま21	九移第 175517号	5W	平成28年5月31日	携帯型
	しょうぼうさつま22	九移第 175518号	5W	平成28年5月31日	携帯型
	しょうぼうさつま23	九移第 176014号	5W	平成28年5月31日	携帯型

防災行政無線吹鳴区分（出動区分）

平成 28 年 4 月 1 日現在

方面隊別	地区名	吹鳴区分		
		1 次吹鳴	2 次吹鳴	3 次吹鳴
宮之城東部方面隊	宮之城屋地 虎 居 (一ツ木・海老川・日当瀬・ 下川口を除く)	中 央 川 原 虎 居 時 吉 船 木	佐 志 湯 田	宮之城西部方面隊
	船 木	中 央 川 原 虎 居 船 木	時 吉 湯 田 佐 志	
	時 吉 湯 田 佐 志	時 吉 湯 田 佐 志	中 央 川 原 虎 居	
宮之城西部方面隊	山 崎 二 渡 久富木	山 崎 二 渡 久富木	中 央 川 原 船 木	宮之城東部方面隊
	平 川 泊 野 白男川 虎 居 (一ツ木・海老川・日当瀬・ 下川口)	平 川 泊 野 白男川	中 央 川 原 虎 居	
鶴田方面隊	鶴 田 神 子 柏 原 紫 尾 柊 野	鶴田方面隊	宮之城東部方面隊	薩摩方面隊
薩摩方面隊	求 名	薩摩方面隊	鶴田方面隊	宮之城東部方面隊 (一部)
	中津川 永 野		宮之城東部方面隊 (一部)	宮之城東部方面隊

防災行政無線設置場所一覧（屋外）

宮之城地域（一部に個別受信機設置）

平成28年4月1日現在

名称	設置場所	名称	設置場所
帝釈天	宮之城屋地1, 627	山崎	山崎42
虎居	西新町11-3	荒瀬	山崎3, 286
轟町	轟町14	二渡	二渡4, 324
川口	虎居5, 732	須杭	二渡1, 386
甫立	虎居2, 638	折小野	二渡2, 014
船木	船木775-3	白男川	白男川2, 657
下船木	船木2, 574	浅井野	白男川3, 189
時吉	時吉1, 525-1	角郷	久富木1, 892
下湯田	湯田203	北原	久富木5, 008
湯之元	湯田1, 253-1	大長	久富木3, 366
佐志	広瀬232	平川	平川1, 959
田原	田原35	大薄	平川6, 389-1
木渋	広瀬5, 038	柊野	柊野536-4
青芝野	広瀬3, 242-3	泊野	泊野941

鶴田地域（全戸に個別受信機設置）

名称	設置場所	名称	設置場所
門前	紫尾1, 665-1	高嶺	神子1, 240
岩之上	紫尾126	大野	神子2, 190
下手	紫尾4, 062	麓	鶴田3, 325
京塚原	柏原2, 374-7	樋脇	鶴田1, 838
市場	柏原2, 641	鶴田大角	鶴田3, 002
種子田	柏原3, 807	浦川内	鶴田4, 194
川口	柏原4, 751	上場	鶴田6, 141
大俣	神子4, 922	山神	鶴田5, 123-2
栗野	神子5, 001		

薩摩地域（全戸に個別受信機設置）

名称	設置場所	名称	設置場所
下手	求名778-6	別野	中津川3, 015
広橋	求名12, 743-1	北方町	中津川9, 567-1
黒鳥	求名13, 827-3	築平	永野326-2
町	求名3, 627-1	池山	永野5, 828-2
橋掛	求名4, 737	金山	永野3, 681-3
下狩宿	求名5, 796	丁町	永野847-3
熊田	求名9, 676-1	平田	永野3, 322-11
弓之尾	中津川1, 926-2	薬師	永野6, 361-1
武	中津川5, 161		

専用回線(119番)着信状況

平成27年中

区分 月	災害 通報	第 2 報	間 違 い	いた ずら	問 い 合 せ	通 報 訓 練	病 院 照 会	取 り 消 し	非 常 通 報 試 験	鳴 動	誤 報	転 送	合 計
26年	694	32	47	5	48	191	97	11	79	43	3	13	1,263
27年	872	52	55	3	74	180	104	20	79	39	0	14	1,492
1月	74		6	1	7	11	7		10	2		3	121
2月	67	4	2		3	9	5	2	2	1		1	96
3月	77	1	4		1	24	11		4	1		2	125
4月	70	6	6		2	12	10	1	11	2			120
5月	67	7	4	1	5	9	9	1	6	1		3	113
6月	61		7		3	19	5	2	5	5		2	109
7月	56	4	2		1	12	7	5	11	1		1	100
8月	99	7	5	1	22	4	15	4		5		1	163
9月	69	3	8		11	13	13	2	6	1			126
10月	66	11	5		2	25	9		16	2			136
11月	81	6	3		6	25	9	2	5	11		1	149
12月	85	3	3		11	17	4	1	3	7			134

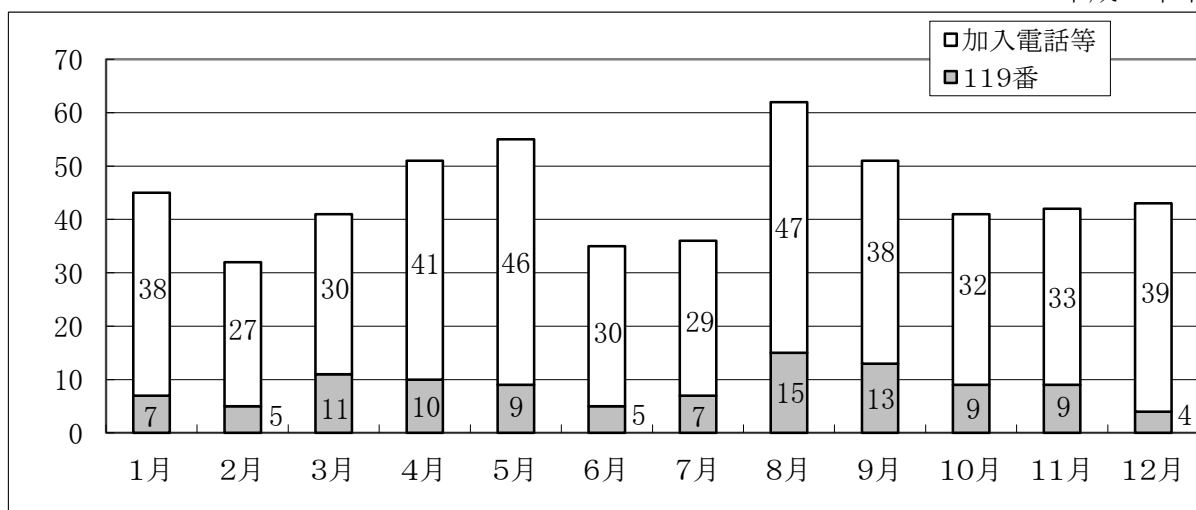
災害別覚知状況

平成27年中

月別 区分		26年	27年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災	119番	10	12		1	2		3			2	2	1		1
	加入電話	3	3				1		1				1		
	事後聞知	8	2			1				1					
	駆け付け														
	その他														
救急	119番	651	783	71	62	72	64	54	55	52	84	61	60	67	81
	加入電話	302	339	35	26	29	26	24	28	25	24	24	31	39	28
	駆け付け	7	8		1		1	2	2	1			1		
	その他		6				1	1	2	1				1	
救助	119番	5	16			1	1	3	3		3			3	2
	加入電話	6	7	1		1		1	2					2	
	駆け付け														
	その他	1	1												1
その他	119番	28	61	3	4	2	5	7	3	4	10	6	5	11	1
	加入電話	20	44	7	1	4	3	5	2	2	4	3	2	7	4
	駆け付け		1						1						
	その他	13	10		1				1	3	3	2			
合計	119番	694	872	74	67	77	70	67	61	56	99	69	66	81	85
	加入電話	331	393	43	27	34	30	30	33	27	28	27	34	48	32
	事後聞知	8	2			1				1					
	駆け付け	7	9		1		1	2	3	1			1		
	その他	14	17		1		1	1	3	4	3	2		1	1
	合計	1,054	1,293	117	96	112	102	100	100	89	130	98	101	130	118

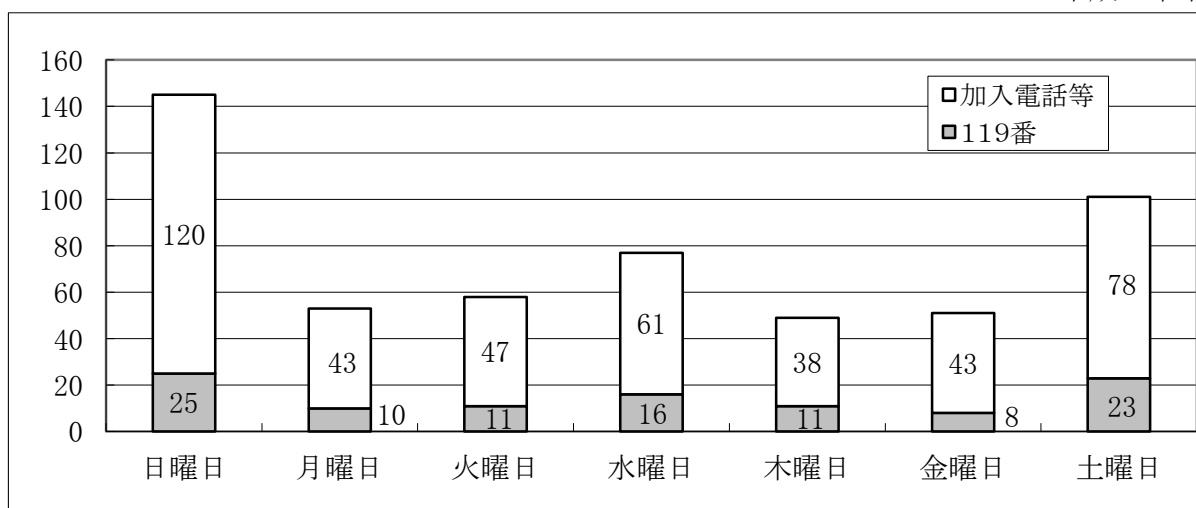
月別医療機関照会状況

平成27年中



曜日別医療機関照会状況

平成27年中



災害等自動案内利用状況

平成27年中

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
案内回数	340	326	340	360	754	473	299	527	483	483	1,190	454	6,029

気 象

月別気象概況表

月別気温平年比較表

月別降雨量平年比較表

月別湿度平年比較表

月別風速平年比較表

火災気象通報及び気象警報発表時における火災発生状況

〈平成 27 年気象一目統計〉

※ 気象観測場所 鹿児島県薩摩郡さつま町時吉 3 6 6 番地

さつま町消防本部

東経 1 3 0° 2 8′

北緯 3 1° 5 4′

標高 3 6 . 2 3 m

※ 年間平均気温 1 6 . 5 °C (参考値)

※ 年間平均湿度 8 6 . 5 % (参考値)

※ 年間平均風速 1 . 9 0 m/s (参考値)

※ 年間平均雨量 9 . 5 3 mm/日 (参考値)

※ 備考〔下記事由により、8～11月までのデータは参考値である。〕

① 8月28日～10月6日まで、全データ欠測。

② 10月6日～11月18日まで、雨量データ欠測。

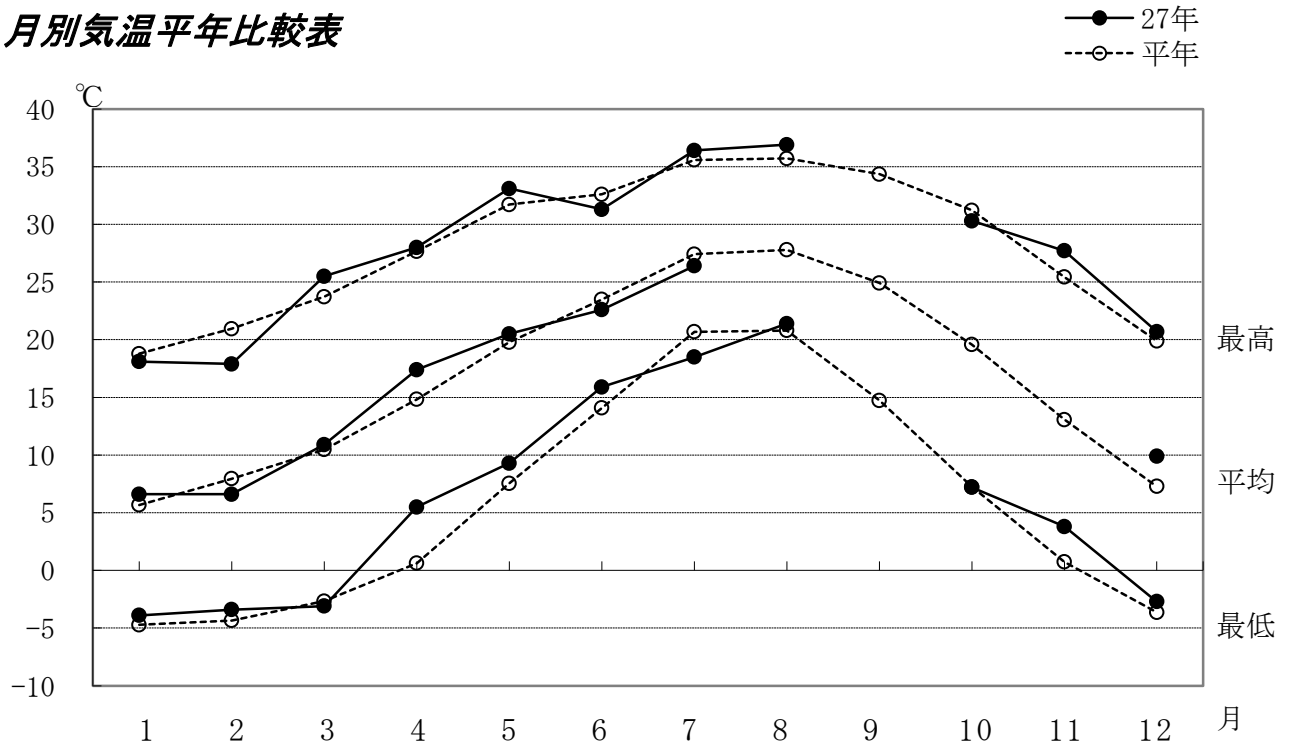
③ 10月18日～19日まで、機器更新に伴い全データ欠測。

月別気象概況表

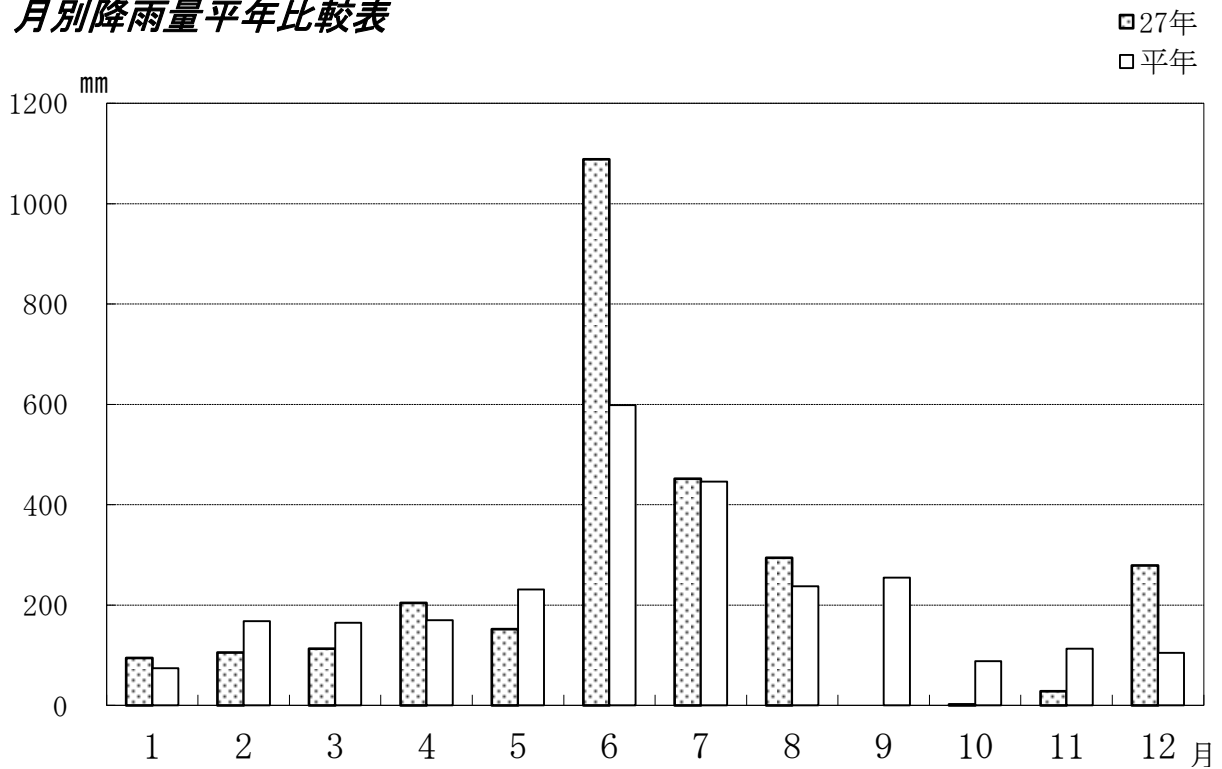
平成27年中

区分 月別	気 温 (℃)			湿 度 (%)		風 速 (m/S)		雨 量 (mm)		
	平均	最高	最低	平均	最低	平均	最大	時間最大	日平均	総雨量
1月	6.6	18.1	-3.9	81.7	30.8	2.1	20.1	16.5	3.0	94.5
2月	6.6	17.9	-3.4	80.3	33.8	2.1	16.9	8.5	3.8	105.5
3月	10.9	25.5	-3.1	81.0	20.3	2.1	16.7	13.0	3.6	113.0
4月	17.4	28.0	5.5	86.4	21.6	2.1	17.1	17.0	6.8	204.5
5月	20.5	33.1	9.3	84.9	25.9	1.9	18.4	9.5	4.9	152.0
6月	22.6	31.3	15.9	95.2	37.6	1.7	20.3	22.5	36.3	1088.5
7月	26.4	36.4	18.5	90.8	51.7	2.2	20.5	23.0	14.6	452.0
8月		36.9	21.4		47.7		52.2	32.0		294.5
9月										
10月		30.3	7.2		26.2		7.3	2.0		2.0
11月		27.7	3.8		44.3		14.5	7.0		28.5
12月	9.9	20.7	-2.7	99.5	34.1	1.8	17.9	30.5	9.0	279.0
区 分	月 日		時 間		数 値		警 報			
最高気温	8月8日		13時28分		36.9℃					
最低気温	1月18日		7時39分		-3.9℃					
最小湿度	3月25日		11時46分		20.3%					
最大瞬間風速	8月25日		3時48分		52.2m/s		(台風15号) 暴風・大雨・洪水警報			
最大時間雨量	8月25日		5時03分～ 6時03分		32.0mm		(台風15号) 暴風・大雨・洪水警報			
最大日雨量	6月21日		00時00分～ 24時00分		125.5mm		大雨・洪水警報			
年間総雨量					2,814.0mm					

月別気温平年比較表

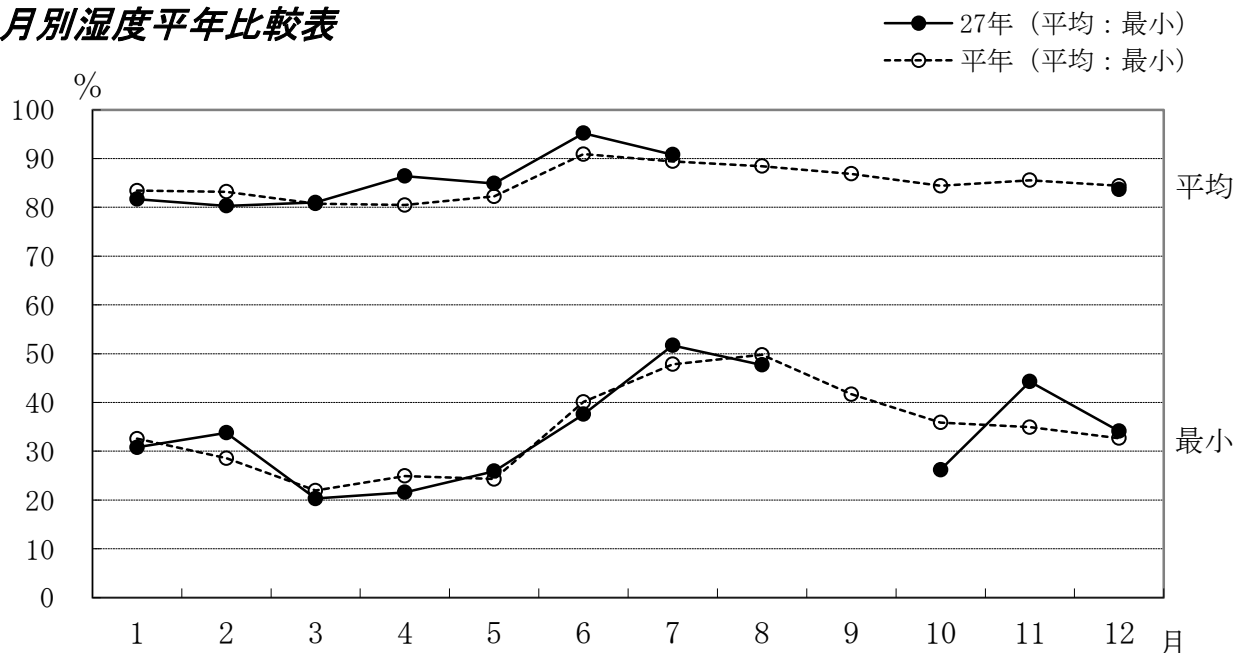


月別降雨量平年比較表

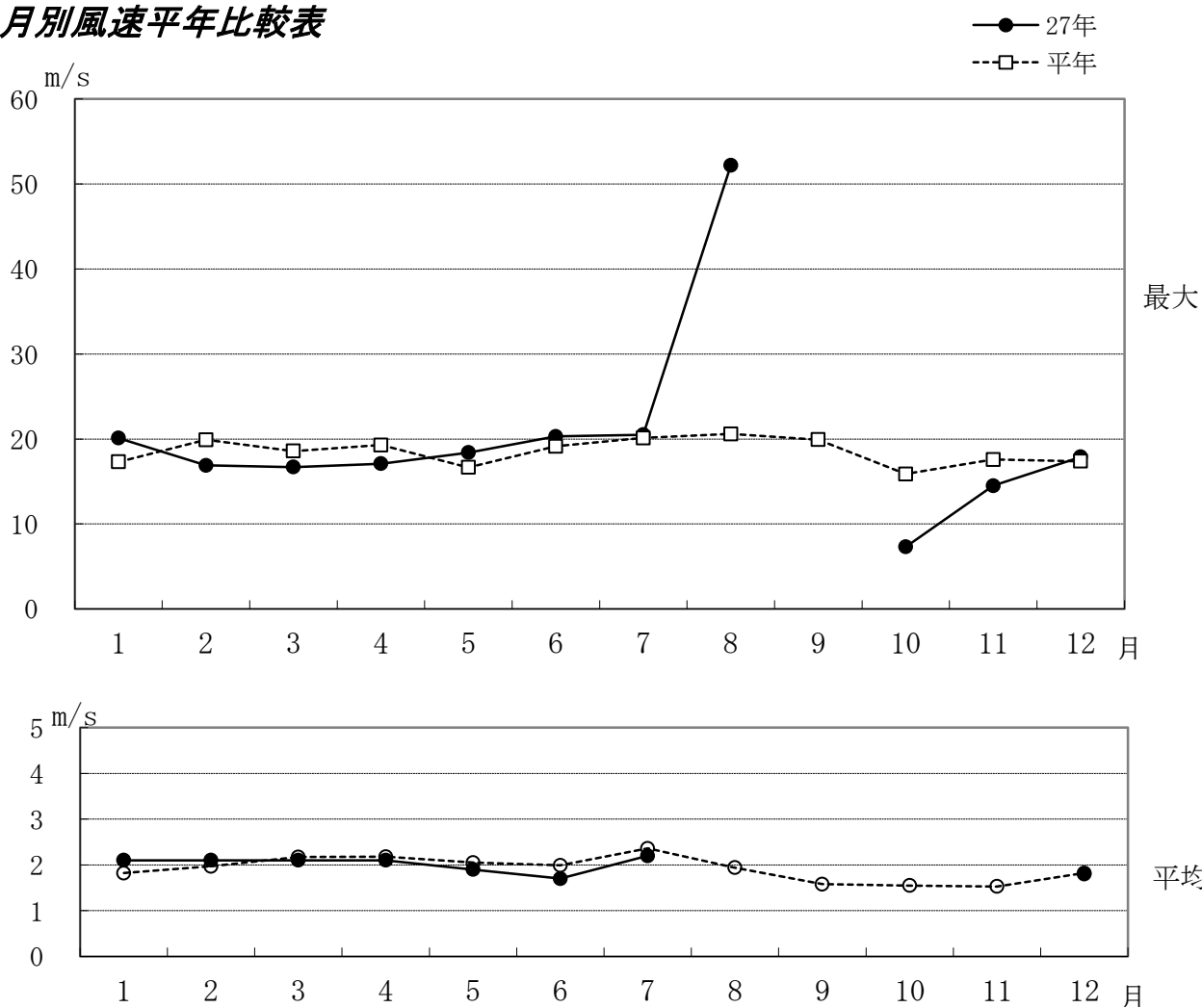


※ 平年のデータは過去10年間の平均値

月別湿度平年比較表



月別風速平年比較表



※ 平年のデータは過去10年間の平均値

火災気象通報及び気象警報発表時における火災発生状況

平成 27 年中

[illegible]

消 防 団

消防団の沿革

消防団の現勢

団員の階級別人員

団員の報酬（年額）

団員の手当（1回当り）

団員の勤続年数

団員の年齢

消防機械

消防団配置図

消防団の沿革

平成17年	3月	市町村合併により、宮之城町消防団、鶴田町消防団、薩摩町消防団解散 新町「さつま町」発足と同時にさつま町消防団4方面隊、定数542名で組織 櫛山健一氏 初代団長に就任
平成17年	5月	さつま町消防団発足式
平成18年	7月	鹿児島県北部豪雨災害発生
平成18年	7月	虎居分団消防自動車（A-2級）購入
平成19年	2月	防災功労者消防庁長官表彰を受章
平成19年	3月	役場分団解団し定数526名に改正
平成19年	9月	柊野分団ポンプ積載車購入 防災功労者内閣総理大臣表彰を受章
平成19年	10月	MCA無線を全分団に配備
平成20年	3月	薩摩方面隊求名分団、中津川分団、永野分団の部制を廃止
平成20年	4月	分団再編により定数483名に改正 薩摩方面隊に南求名分団を新設し、4分団121名で組織
平成21年	4月	萩木場光三氏 2代団長に就任
平成21年	10月	柏原分団車庫完成
平成23年	2月	虎居分団車庫完成
平成23年	4月	末吉義人氏 3代団長に就任
平成23年	10月	中津川分団消防自動車（A-2級）購入
平成24年	3月	川原分団車庫完成
平成24年	4月	副団長及び薩摩方面隊の定数改正に伴い、定数を452名に改正 柊野分団を鶴田方面隊に編入し、5分団103名で組織
平成24年	10月	求名分団消防自動車（A-2級）購入
平成25年	10月	永野分団消防自動車（A-2級）購入
平成25年	12月	船木分団車庫完成
平成26年	12月	川原分団消防自動車（水-1）購入
平成27年	3月	佐志分団車庫完成 日本消防協会長表彰「竿頭授」を受章
平成27年	10月	紫尾分団消防自動車（A-2級）購入
平成28年	3月	一ツ木分団を白男川分団に編入し、定数32名に改正

消防団の現勢

平成28年4月1日現在

区分		方面隊別	消防団本部	宮之部方面隊	宮之部方面隊	鶴田方面隊	薩摩方面隊	合計
消防分団				7	6	5	4	22
人員	消防団員(定員)		6	112	140	103	91	452
	消防団員(実員)		6	106	129	95	91	427
機械	消防ポンプ自動車			4	5	4	4	17
	水槽付消防自動車			1				1
	小型ポンプ積載車			2	1	1	3	7
	小型ポンプ			3	6	5	4	18

団員の報酬(年額)

平成28年4月1日現在

階級	報酬額
団長	190,600
副団長	128,300
方面隊長	106,900
分団長	94,900
副分団長	69,800
部長	50,500
班長	40,100
団員	36,500

団員の階級別人員

平成28年4月1日現在

階級		方面隊別	消防団本部	宮之部方面隊	宮之部方面隊	鶴田方面隊	薩摩方面隊	合計
団長			1					1
副団長			1					1
方面隊長			4					4
分団長				7	6	5	4	22
副分団長				7	6	5	4	22
部長				7	6	5	4	22
班長				14	12	10	8	44
団員				71	99	70	71	311
合計			6	106	129	95	91	427

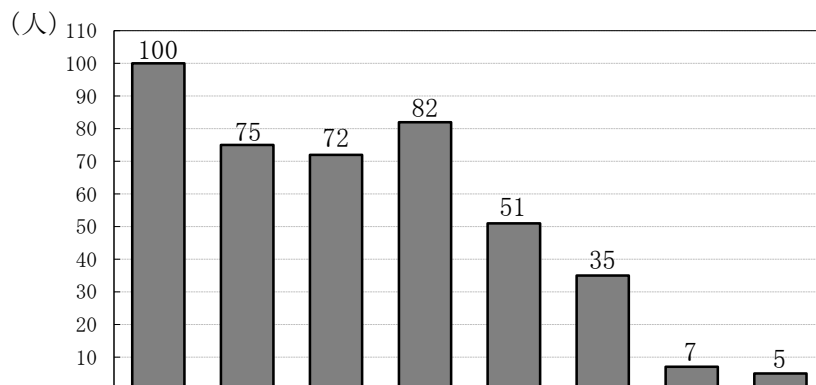
団員の手当(1回当り)

平成28年4月1日現在

区分	手当
出動手当	4,500
訓練手当	4,500
警戒手当	4,500
機関手当 (整備・運転等)	2,250
その他 (研修・出会等)	4,500

団員の勤続年数

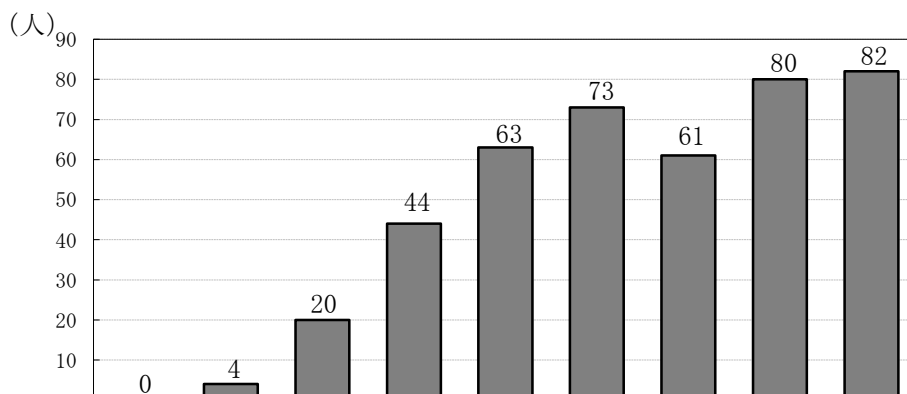
平成28年4月1日現在



階級 \ 年数	5年以下	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35年以上	人員計	平均年数
団長								1	1	36
副団長								1	1	39
方面隊長						2		2	4	34
分団長				1	7	10	3	1	22	26
副分団長				7	5	9	1		22	23
部長				8	7	6	1		22	22
班長			9	13	17	5			44	19
団員	100	75	63	53	15	3	2		311	9
合計	100	75	72	82	51	35	7	5	427	12

団員の年齢

平成28年4月1日現在



階級 \ 年齢	20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55歳以上	人員計	平均年齢
団長									1	1	68
副団長									1	1	61
方面隊長									4	4	61
分団長							1	5	16	22	56
副分団長							2	8	12	22	54
部長					1	2	2	9	8	22	52
班長					2	6	9	14	13	44	50
団員		4	20	44	60	65	47	44	27	311	42
合計		4	20	44	63	73	61	80	82	427	45

消防機械

平成28年4月1日 現在

隊別	分団名	消防自動車				ポンプ積載車				小型ポンプ						
		車名	ポンプ名	ポンプ級別	乗車定員	購入年月	経過年月	車名	排気量(CC)	乗車定員	購入年月	経過年月	ポンプ名	ポンプ級別	購入年月	経過年月
宮之城東部方面隊	中央分団	三菱	日本ドライ	A-2	10人	H8年11月	19年4月									
	虎居分団	日野	モリタ	A-2	10人	H18年10月	9年5月									
	川原分団	いすゞ	モリタ	A-2	7人	H26年12月	1年3月									
	時吉分団							トヨタ	3,000	9人	H13年12月	14年3月	トーハツ	B-3	H11年9月	16年6月
	船木分団							日産	3,000	9人	H16年12月	11年3月	トーハツ	B-3	H20年6月	7年9月
	佐志分団	日野	日本機械	A-2	10人	H6年12月	21年3月						ラビット	B-3	H9年9月	18年6月
	湯田分団	三菱	GM	A-2	8人	H9年11月	18年4月									
宮之城西部方面隊	山崎分団	日産	GM	A-2	7人	H8年3月	20年0月						ラビット	B-3	H27年9月	0年6月
	二渡分団	日産	モリタ	A-2	7人	H11年2月	17年1月						ラビット	B-3	H14年5月	13年10月
	久富木分団	トヨタ	モリタ	A-2	7人	H12年3月	16年0月						シバウラ	B-3	H23年8月	4年7月
	平川分団	いすゞ	モリタ	A-2	9人	H11年11月	16年4月						ラビット	B-3	H22年6月	5年9月
	白男川分団	三菱	GM	A-2	8人	H16年3月	12年0月						トーハツ	B-3	H24年5月	3年10月
	泊野分団							三菱	3,000	9人	H13年12月	14年3月	トーハツ	B-3	H11年9月	16年6月
	鶴田分団	三菱	日本ドライ	A-2	8人	H8年3月	20年0月						ラビット	B-3	H12年10月	15年5月
鶴田方面隊	神子分団	三菱	日本ドライ	A-2	8人	H8年3月	20年0月						ラビット	B-3	H27年9月	0年6月
	柏原分団	三菱	日本ドライ	A-2	8人	H8年12月	19年3月						ラビット	B-3	H11年12月	16年3月
	紫尾分団	日野	日本ドライ	A-2	8人	H27年11月	0年4月						ラビット	B-3	H13年7月	14年8月
	終野分団							トヨタ	3,000	9人	H12年10月	15年5月	シバウラ	B-3	H25年9月	2年6月
薩摩方面隊	永野分団	トヨタ	モリタ	A-2	8人	H25年10月	2年5月	トヨタ	1,990	9人	H8年12月	19年3月	シバウラ	B-3	H13年3月	15年0月
	求名分団	日野	日本ドライ	A-2	8人	H24年10月	3年5月	三菱	1,990	9人	H11年7月	16年8月	シバウラ	B-3	H25年9月	2年6月
	南求名分団	三菱	吉谷	A-2	8人	H7年10月	20年5月						ラビット	B-3	H12年9月	15年6月
	中津川分団	日野	モリタ	A-2	8人	H23年10月	4年5月	トヨタ	1,990	9人	H11年2月	17年1月	トーハツ	B-3	H8年8月	19年7月

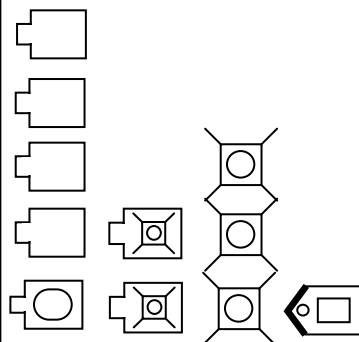
消防団配置図

平成 28 年 4 月 1 日現在

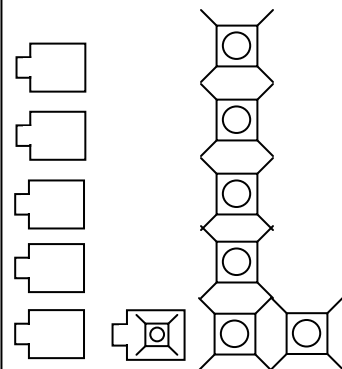
※ () は定数

消防団本部 6 名
(6 名)

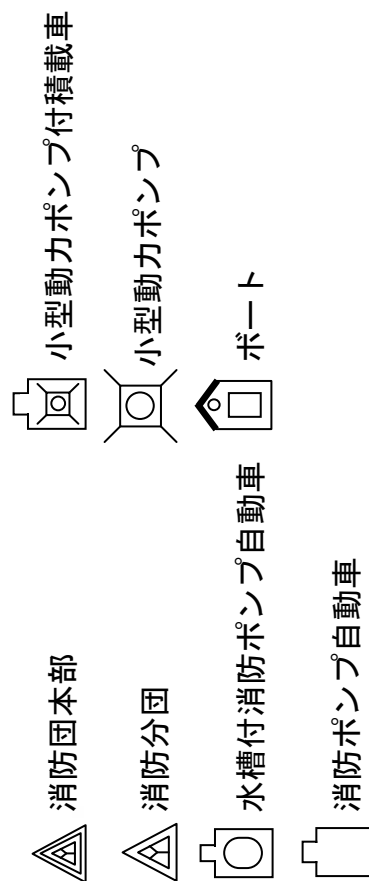
宮之城東部方面隊 106 名
(112 名)



宮之城西部方面隊 129 名
(140 名)



～凡例～



消防協力団体

婦人防火クラブ

幼年消防クラブ

消防災害支援隊

自主防災組織

さつま町危険物安全協会

消防協力団体

婦 人 防 火 ク ラ ブ

平成28年4月1日現在

ク ラ ブ 名	地域別	結成年月日	クラブ員数
旭保育園婦人防火クラブ	鶴 田	平成 8年 7月14日	12名
中津川婦人防火クラブ	薩 摩	平成 8年 9月18日	13名
しび保育園婦人防火クラブ	鶴 田	平成20年 4月 1日	9名
つるだ同朋子ども園婦人防火クラブ	鶴 田	平成22年 4月 1日	15名
合計 4クラブ			49名

幼 年 消 防 ク ラ ブ

平成28年4月1日現在

ク ラ ブ 名	地域別	結成年月日	クラブ員数
吉祥保育園幼年消防クラブ	宮之城	昭和63年 9月 1日	37名
旭保育園幼年消防クラブ	鶴 田	平成 2年12月18日	24名
恵光保育園幼年消防クラブ	薩 摩	平成 4年 3月25日	22名
つるだ同朋子ども園幼年消防クラブ	鶴 田	平成19年 4月 1日	30名
しび保育園幼年消防クラブ	鶴 田	平成20年 4月 1日	15名
合計 5クラブ			128名

消 防 災 害 支 援 隊

平成28年4月1日現在

支 援 隊 名	方面隊別	結成年月日	隊員数
永野分団消防災害支援隊	薩 摩	平成20年 5月15日	25名
中央分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成20年 6月13日	10名
船木分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成20年 7月 5日	10名
紫尾分団消防災害支援隊	鶴 田	平成20年 7月12日	11名
久富木分団消防災害支援隊	宮之城西部	平成20年12月 8日	20名
佐志分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成20年12月24日	11名
山崎分団消防災害支援隊	宮之城西部	平成21年 2月10日	12名
平川分団消防災害支援隊	宮之城西部	平成21年 2月24日	17名
神子分団消防災害支援隊	鶴 田	平成21年 3月 2日	18名
二渡分団消防災害支援隊	宮之城西部	平成21年 3月19日	24名
白男川分団消防災害支援隊	宮之城西部	平成21年 3月24日	25名
川原分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成21年 8月21日	5名
鶴田分団消防災害支援隊	鶴 田	平成21年11月 6日	17名
柊野分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成21年11月17日	16名
中津川分団消防災害支援隊	薩 摩	平成21年12月11日	34名
虎居分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成21年12月12日	7名
湯田分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成21年12月20日	10名
時吉分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成22年 2月 7日	9名
求名分団消防災害支援隊	薩 摩	平成22年 3月29日	27名
南求名分団消防災害支援隊	薩 摩	平成22年 3月29日	22名
泊野分団消防災害支援隊	宮之城西部	平成22年 4月16日	6名
柏原分団消防災害支援隊	鶴 田	平成22年 7月29日	10名
合計 22団体			346名

自主防災組織

宮之城

平成28年4月1日現在

地区	組 織 名	結成年月日	地区	組 織 名	結成年月日
宮之城 屋地	城之口自主防災組織	平成15年 4月 1日	平川	下平川自主防災組織	平成14年 4月 1日
	五日町自主防災組織	平成15年 4月 1日		上平川自主防災組織	平成14年 4月 1日
	町頭自主防災組織	平成15年 4月 1日		大薄下自主防災組織	平成18年 4月 1日
	上仲町自主防災組織	平成15年 4月 1日		大薄上自主防災組織	平成18年 4月 1日
	天神自主防災組織	平成19年 7月 1日	湯田	湯之元自主防災組織	平成14年 4月 1日
	屋地馬場自主防災組織	平成20年 4月 1日		湯田中自主防災組織	平成14年 4月 1日
	八幡馬場自主防災組織	平成20年 4月 1日		湯田上自主防災組織	平成16年 4月 1日
	愛宕自主防災組織	平成14年 4月 1日		湯田下自主防災組織	平成14年 4月 1日
	東谷自主防災組織	平成14年 4月 1日		西湯田原自主防災組織	平成18年 4月 1日
	川原町自主防災組織	平成14年 4月 1日	佐志	木渋自主防災組織	平成14年 4月 1日
	中央自主防災組織	平成19年 4月 1日		仮屋原自主防災組織	平成15年 4月 1日
	ウッドタウン自主防災組織	平成14年 4月 1日		前目自主防災組織	平成23年 7月17日
	観月台自主防災組織	平成14年 4月 1日		広瀬自主防災組織	平成19年10月 1日
	ホーブタウン自主防災組織	平成14年 4月 1日		池之野自主防災組織	平成16年 4月 1日
虎居	虎居町自主防災組織	平成18年 4月 1日		さくら自主防災組織	平成17年 4月 1日
	東町自主防災組織	平成14年 4月 1日		豆漬自主防災組織	平成15年 4月 1日
	西町自主防災組織	平成15年 4月 1日		布田自主防災組織	平成14年 4月 1日
	轟原自主防災組織	平成15年 4月 1日		あながわ自主防災組織	平成14年 4月 1日
	虎居馬場自主防災組織	平成 6年 4月 1日		田原自主防災組織	平成20年 8月 1日
	西手自主防災組織	平成14年 4月 1日	山崎	山崎麓自主防災組織	平成14年 4月 1日
	上向自主防災組織	平成14年 4月 1日		山崎中自主防災組織	平成16年 4月 1日
	上向中自主防災組織	平成14年 4月 1日		荒瀬自主防災組織	平成19年 4月 1日
	虎居大角自主防災組織	平成14年 4月 1日	久富木	北原自主防災組織	平成14年 4月 1日
	甫立自主防災組織	平成17年 4月 1日		大長自主防災組織	平成14年 4月 1日
	海老川自主防災組織	平成20年 6月 1日		角郷自主防災組織	平成14年 4月 1日
	一ツ木自主防災組織	平成14年 4月 1日		大畝町自主防災組織	平成17年 4月 1日
	下川口自主防災組織	平成19年 7月 1日		久富木町自主防災組織	平成17年 4月 1日
時吉	時吉新町自主防災組織	平成16年 4月 1日	二渡	二渡町自主防災組織	平成15年 4月 1日
	時吉中城自主防災組織	平成16年 4月 1日		二渡自主防災組織	平成14年 4月 1日
船木	船木東自主防災組織	平成19年 4月 1日		須杭自主防災組織	平成20年 5月 1日
	船木西自主防災組織	平成18年 3月19日	白男川	折小野自主防災組織	平成16年 4月 1日
	船木下自主防災組織	平成18年 4月 1日		白男川自主防災組織	平成14年 4月 1日
	旭自主防災組織	平成18年 4月 1日	泊野	浅井野自主防災組織	平成14年 4月 1日
柊野	柊野上向江自主防災組織	平成20年 6月 1日		泊野高峰自主防災組織	平成14年 4月 1日
	柊野中間下自主防災組織	平成20年 6月 1日		泊野きらら自主防災組織	平成25年 3月17日
合計 70組織					

薩摩

平成28年4月1日現在

地区	組 織 名	結成年月日	地区	組 織 名	結成年月日
求名	下手自主防災組織	平成20年 7月 7日	中津川	別野自主防災組織	平成22年 4月 1日
	下中福良自主防災組織	平成20年 7月 7日		弓之尾自主防災組織	平成20年 4月 1日
	求名町自主防災組織	平成20年 3月 1日		尾原自主防災組織	平成20年 1月27日
	上中福良自主防災組織	平成20年 7月 7日		北方町自主防災組織	平成21年10月 1日
	橋掛自主防災組織	平成20年 7月 7日	永野	金山自主防災組織	平成16年 4月 1日
	下狩宿自主防災組織	平成20年 7月 7日		新町自主防災組織	平成19年 7月 1日
	上狩宿自主防災組織	平成20年 7月 7日		仕明自主防災組織	平成19年 7月 1日
	境田自主防災組織	平成20年 7月 7日		吉川自主防災組織	平成11年 4月 1日
	搦自主防災組織	平成20年 7月 7日		新岩元自主防災組織	平成21年 3月27日
	熊田自主防災組織	平成19年 7月 1日		築平自主防災組織	平成19年 7月 1日
	戸子田自主防災組織	平成16年 4月 1日		南川自主防災組織	平成 6年 4月 1日
	広橋自主防災組織	平成20年 7月 7日			
	黒鳥自主防災組織	平成20年 7月 7日			
合計 24組織					

鶴田

平成28年4月1日現在

地区	組 織 名	結成年月日	地区	組 織 名	結成年月日
鶴田	上場自主防災組織	平成10年 4月 1日	神子	栗野自主防災組織	平成11年 3月 1日
	大平自主防災組織	平成10年 4月 1日		大俣自主防災組織	平成14年 4月 1日
	鶴田南自主防災組織	平成10年 4月 1日	柏原	上川口自主防災組織	平成 8年 9月 1日
	鶴田大角自主防災組織	平成11年 3月 1日		市場自主防災組織	平成18年 4月 1日
	鶴田町自主防災組織	平成 8年 6月 3日		諏訪下自主防災組織	平成18年 4月 1日
	東善寺自主防災組織	平成 8年 6月 1日		小路下手自主防災組織	平成 9年 3月23日
	城内自主防災組織	平成19年 7月 1日		大願寺自主防災組織	平成 9年 4月 1日
	麓自主防災組織	平成 8年 4月 1日		下京塚原自主防災組織	平成 8年 6月 3日
	東湯田原自主防災組織	平成 9年 3月23日		京塚原自主防災組織	平成 9年 4月 1日
	湯田原自主防災組織	平成 9年 3月23日		種子田自主防災組織	平成11年 3月 1日
神子	大野自主防災組織	平成 8年 4月 1日	紫尾	紫尾下自主防災組織	平成 9年 3月23日
	上下大迫自主防災組織	平成 9年 3月23日		紫尾中自主防災組織	平成 6年10月 1日
	高嶺自主防災組織	平成 8年 5月 2日		紫尾上自主防災組織	平成 8年 9月 1日
	中間自主防災組織	平成19年 4月 1日			
	新田自主防災組織	平成18年 4月 1日			
合計 28組織					

さつま町危険物安全協会

設立年月日：平成2年5月25日

地域別	宮之城地域	鶴田地域	薩摩地域
事業所数 (30)	20	4	6

平成28年度 全国統一防火標語

消しましょう
その火その時
その場所で

編集・発行 さつま町消防本部
〒895-1816
鹿児島県薩摩郡さつま町時吉366
TEL 0996-52-0119
FAX 0996-53-0119
Web <http://119.satsuma-net.jp/>
MAIL shobo@satsuma-net.jp
印刷 邦永印刷